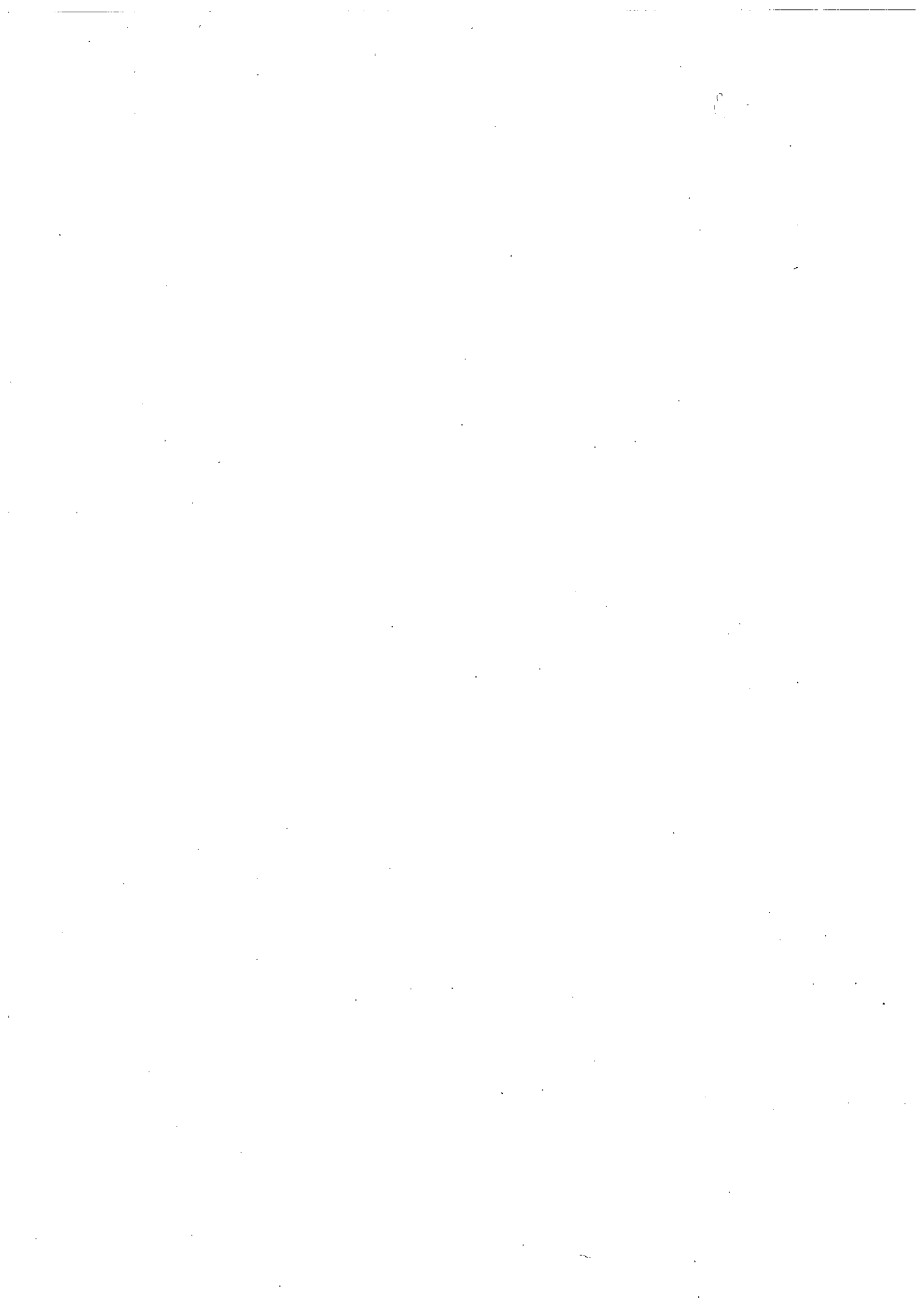


## イノシシ管理事業実施計画書

令和4年度イノシシ管理事業実績報告書(県実施分).....	p3~8
令和6年度イノシシ管理事業実施計画書(県実施分).....	p9~14
令和4年度イノシシ管理事業実績報告書(市町村分).....	p15~46
令和5年度イノシシ管理事業実施計画書(市町村分).....	p47~78

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課



令和4年度

イノシシ管理事業実績報告書(県実施分)

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課



令和4年度イノシシ管理事業実施計画の実績と評価

宮城県

R4計画	R4実績	評価
<p>1 被害防除対策</p> <p>イ 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出 ※第4期宮城県イノシシ管理計画における目標:令和8年度末時点まで6,600万円</p> <p>ロ 有害鳥獣対策への地域的な取組支援 普及指導員が地域的な有害鳥獣対策を支援するための被害軽減に係る知識の習得、向上に向けた研修会の開催と情報提供や助言を行う。</p> <p>ハ 鳥獣被害防除総合支援交付金等による侵入防止柵(電気柵、金属柵等)の設置に対する補助。</p> <p>ニ 集落ぐるみの対策モデル事業の実施など、市町村における被害防除体制整備への支援、指導。</p> <p>ホ 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防除特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防除計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 イノシシ対象 27市町村) ※ R3.4末時点</p> <p>ヘ 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p>	<p>1 被害防除対策</p> <p>イ 農業被害額は7,920万円(速報値)となり、過去3年間の平均9,352万円を下回った。</p> <p>ロ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各普及センターに鳥獣被害対策を支援する担当普及職員を配置。</li> <li>・農山漁村なりわい課主催の研修会(12/23)に鳥獣担当普及職員(11名)を派遣し、イノシシの生態や、県内地域の対策事例を学んだ。</li> <li>ハ 鳥獣被害防除総合支援交付金により、13事業実施主体における侵入防止柵設置を補助した。 (気仙沼市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、富谷市、七ヶ宿町、大河原町、村田町、大和町、大衡村、色麻町、加美町)</li> <li>ニ 集落ぐるみの鳥獣被害対策モデル事業等により、10地区で被害防除対策に関する勉強会を計22回(新規:仙台市6回、栗原市6回、大河原町3回、村田町3回、フオーアツブ:栗原市1回、村田町2回、加美町1回)開催した。</li> <li>ホ イノシシを対象鳥獣とする13市町における計画の更新を支援した。 (仙台市、気仙沼市、白石市、名取市、登米市、栗原市、東松島市、富谷市、柴田町、山元町、松島町、大和町、加美町)</li> <li>ヘ 地域の対策従事者や県・市町村担当者を対象とし、イノシシの生態や効果的な被害対策に関する研修会を開催し、人材育成による地域での対策推進を図った。(12/23、35名参加) また、被害対策に係る知識及び技術の取得を目的とする、県・市町村担当者を対象とした農林水産省主催の研修に参加。(6/21、18名参加)</li> </ul>	<p>【農山漁村なりわい課】 農作物被害の軽減に向けて、引き続き被害防止対策の推進・支援を行う。</p> <p>【農業振興課】 今後も担当普及職員を配置するとともに、研修を通して知識を習得し、地域の鳥獣被害対策への取組を支援する。</p> <p>【農山漁村なりわい課】 農作物被害の軽減に向けて、引き続き交付金の活用により、侵入防止柵の設置を補助する。</p> <p>【農山漁村なりわい課】 各集落において効果的な対策の推進できるよう、引き続き対策の支援を行いながら対策手法の普及を図る。</p> <p>【農山漁村なりわい課】 適正な計画内容となるよう、引き続き計画の作成及び変更を支援する。</p> <p>【農山漁村なりわい課】 各地域において効果的な被害対策が推進されるよう、引き続き研修会を開催するほか、国主催の研修への参加を促す。</p>

令和4年度イノシシ管理事業実施計画の実績と評価

宮城県

R4計画	R4実績	評価
<p>2 個体数管理</p> <p>イ 捕獲目標(県全体):これまでの捕獲数と推定生息数の傾向から、狩猟、有害鳥獣捕獲、個体数調整及び指定管理鳥獣捕獲等事業の合計で13,200頭以上を目標とする。</p> <p>ロ 狩猟期間の延長(11月15日から11月1日から、3月15日までを3月31日まで)</p> <p>ハ 狩猟捕獲に対する支援 放射線物質の影響により狩猟捕獲頭数が減っていることから、狩猟捕獲に対する補助(1頭当たり5,000円、捕獲目標1,200頭)を行う。</p> <p>ニ 有害鳥獣捕獲及び個体数調整のための捕獲を行う者の資格緩和 地域ぐるみによる取組により、狩猟免許を有しない者の参加も含めて検討する。</p> <p>ホ 体制が整っていることを前提に、第四期宮城県イノシシ管理計画の重点区域市町村に対し、個体数調整に係る捕獲許可の権限移譲を検討する(既に権限が移譲されている市町村は除く。)</p> <p>ヘ 国の指定管理鳥獣捕獲等事業交付金を活用した捕獲事業を実施する。(捕獲目標4,000頭)</p> <p>ト 有識者による農作物被害防止対策(捕獲含む)のための研修会を開催。</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>イ 捕獲実績(県全体):6,382頭 ・県事業(指定管理鳥獣捕獲等事業) 2,046頭 ・市町村事業(有害鳥獣捕獲) 3,777頭 ・狩猟捕獲 559頭</p> <p>ロ 狩猟期間を11月1日から11月14日及び2月16日から3月31日まで延長し、延長期間内に168頭捕獲した。</p> <p>ハ 狩猟捕獲に対する支援 補助事業により、324頭の捕獲実績があった。</p> <p>ニ 農林業者が自らの事業地内で困りわいなによる有害鳥獣捕獲を実施する場合は狩猟免許が不要である等、制度概要の情報提供等の支援を行った。</p> <p>ホ 令和5年4月1日時点で、17市町村に権限移譲済み。 (仙台市 白石市 名取市 角田市 岩沼市 富谷市 蔵王町 七ヶ宿町 大河原町 村田町 柴田町 川崎町 丸森町 亘理町 山元町 大和町 大衡村)</p> <p>ヘ 指定管理鳥獣捕獲等事業により、2,046頭を捕獲した。</p> <p>ト 地域の対策従事者や県・市町村担当者を対象とし、イノシシの生態や効果的な被害対策に関する研修会を開催し、人材育成による地域での対策推進を図った。 (12/23、35名参加)</p>	<p>【自然保護課】 豚熱等の影響もあり、目標を下回る捕獲数となった。引き続き捕獲圧の強化に努める。</p> <p>【自然保護課】 狩猟捕獲全体の約30%であり、捕獲圧の強化に一定の効果が見られた。</p> <p>【自然保護課】 狩猟捕獲全体の約58%が本補助事業を活用しており、捕獲圧の維持に一定の効果が見られた。</p> <p>【自然保護課】 引き続き、問い合わせ等に対して情報提供を行っていく。</p> <p>【自然保護課】 引き続き、希望する市町村に対して権限移譲を実施する。</p> <p>【自然保護課】 目標頭数には届かなかったものの捕獲圧強化に一定の効果があった。</p> <p>【農山漁村なりわい課】 各地域において効果的な被害対策が推進されるよう、引き続き研修会等を開催する。</p>

令和4年度イノシシ管理事業実施計画の実績と評価

宮城県

R4計画	R4実績	評価
<p>チ 有害捕獲 鳥獣被害防止総合対策交付金等による農作物被害防止対策(捕獲含む)に対する補助及び研修会開催補助。</p>	<p>チ 鳥獣被害防止総合対策交付金により、26事業実施主体における被害防止対策の補助を行った。 (仙台市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、富谷市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、亘理町、山元町、松島町、大和町、大郷町、大衡村、色麻村、加美町、南三陸町)</p>	<p>【農山漁村なりわい課】 引き続き交付金を活用して、捕獲経費や研修会の開催等を支援する。</p>
<p>3 生息地の適正管理 イ 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。 ロ 活用できる補助事業等の一覧表を整理し、ホームページや各種関連会議で情報提供を行うことで、農地周辺の未整備森林の解消を支援する。</p>	<p>3 生息地の適正管理 イ 集落ぐるみの鳥獣被害対策モデル事業等により研修会を開催し、環境整備の重要性を周知しながら対策の推進を図った。 ロ ・森林整備に活用できる補助事業の情報をホームページに掲載し、周知を図った。また、各種関連会議の場で事業に関する情報提供を行った。</p>	<p>【農山漁村なりわい課】 環境整備の推進について、引き続き地域の取組を支援する。 【森林整備課】 引き続き、補助事業等の周知を図り、農地周辺の未整備森林の解消を支援していく。</p>
<p>4 資源活用及び残渣の適正処理 イ 放射性物質検査 平成24年6月25日から出荷が制限されているイノシシ肉について、放射性物質のモニタリング調査を行う。 また、市町村等からジビエ利用に向けた出荷制限の一部解除に向けた要望があった際は、適宜必要な支援を行っていく。</p>	<p>4 資源活用及び残渣の適正処理 イ 放射性物質検査 県内各地から検体を採取し、ゲルマニウム半導体検出器で測定を行った。 (国基準値(100Bq/kg)超過は79検体中11検体)</p>	<p>【自然保護課】 依然として基準値を超過する検体があることから、今後も継続して検査を行い、情報提供していく。</p>

令和4年度イノシシ管理事業実施計画の実績と評価

宮城県

R4計画	R4実績	評価
<p>5 その他                      (1) 広域連携                      イ 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(2) 調査研究                      イ 捕獲状況調査                      狩猟及び指定管理鳥獣捕獲等事業に係る「出猟カレンダー」で生息分布及び捕獲効率等を把握するとともに、有害鳥獣捕獲についても市町村に出猟カレンダーの提出について協力を呼びかける。</p> <p>国庫補助事業等を活用し、階層ベイズ法による生息数推定等の生息状況調査を実施するとともに、基礎データの収集方法や推定手法の改善について検討を行う。</p> <p>ロ 農作物被害状況調査</p> <p>(3) 計画の検証・推進                      イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会イノシシ部会                      県及び該当市町の事業実施計画等について専門家による検証を行うとともに、必要に応じて部会に各市町の担当者をオブザーバーとして招き、各市町の抱える問題等への助言機会の確保を図る。</p> <p>(4) 林床等の野外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>5 その他                      (1) 広域連携                      イ 県内5圏域(大河原、仙台、北部、東部、気仙沼)において地域連携会議を開催し、効果的な被害防止対策の実施に向け、情報交換等を行った。</p> <p>(2) 調査研究                      イ 捕獲状況調査                      ・ 狩猟捕獲、有害鳥獣捕獲及び指定管理鳥獣捕獲等事業により生息分布等を把握した。</p> <p>・ 狩猟捕獲数、許可捕獲数、銃猟登録者1人あたり捕獲数及び出猟カレンダーの銃猟目撃効率の4指標から、階層ベイズ法による生息数推定を行った。                      令和3年度末推定生息数21,105頭(95%信頼区間11,488~109,377)</p> <p>ロ 農業被害額は7,920万円(速報値)となり、過去3年間の平均9,352万円を下回った。</p> <p>(3) 計画の検証・推進                      イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会イノシシ部会                      部会及び検討・評価委員会を各1回開催し、県及び該当市町村の事業実施計画等について検証を行った。                      豚熱(CSF)について、県関係部局を招き情報提供を行った。</p> <p>(4) 県内各地に配置されている林業普及指導員等が、普及活動を通じて、随時被害防止技術の情報提供を行った。</p>	<p>【農山漁村なりわい課】                      近隣市町村との連携強化を図るため、引き続き連携会議等を開催する。</p> <p>【自然保護課】                      捕獲に関する情報及び生息数推定はイノシシ管理の基礎情報であるため、今後も情報収集に努める。</p> <p>【農山漁村なりわい課】</p> <p>【自然保護課】                      特定計画の実施状況を検討・評価するため、今後も継続的に開催する。</p> <p>【林業振興課】                      生産者のニーズに応じた引き続き、被害防止技術を提供する。</p>



令和6年度

イノシシ管理事業実施計画書(県実施分)

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課



令和6年度イノシシ管理事業実施計画(案)

宮城県

※赤字はR5計画からの変更箇所

R5計画		R6計画		備考
1	被害防除対策 イ 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を累計して算出 ※第4期宮城県イノシシ管理計画における目標:令和8年度末時点で6,600万円  ロ 有害鳥獣対策への地域的な取組支援 普及指導員が地域的な有害鳥獣対策を支援するための被害軽減に係る知識の習得、向上に向けた研修会の開催と情報提供や助言を行う。  ハ 鳥獣被害防止総合支援交付金等による侵入防止柵(電気柵、金属柵等)の設置に対する補助。  ニ 集落ぐるみでの対策モデル事業の実施など、市町村における被害防止体制整備への支援、指導。  ホ 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 イノシシ対象 29市町村) ※ R4.4末時点  ヘ 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。	1	被害防除対策 イ 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を累計して算出 ※第4期宮城県イノシシ管理計画における目標:令和8年度末時点で6,600万円  ロ 普及指導員等が、有害鳥獣対策を支援するための被害軽減に係る知識の習得、向上に向けた研修会の開催と情報提供や助言を行う。  ハ 鳥獣被害防止総合支援交付金等による侵入防止柵(電気柵、金属柵等)の設置に対する補助。  ニ 集落ぐるみでの対策モデル事業の実施など、市町村における被害防止体制整備への支援、指導。  ホ 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 イノシシ対象 30市町村) ※ R5.4末時点  ヘ 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。	農山漁村なりわい課  農業振興課  農山漁村なりわい課  農山漁村なりわい課  農山漁村なりわい課  農山漁村なりわい課

令和6年度イノシシ管理事業実施計画(案)

宮城県

※赤字はR5計画からの変更箇所

R5計画		R6計画		備考
2	<p>個体数管理</p> <p>イ 捕獲目標(県全体):これまでの捕獲数と推定生息数の傾向から、狩猟、有害鳥獣捕獲、個体数調整及び指定管理鳥獣捕獲等事業の合計で16,200頭以上を目標とする。</p> <p>ロ 狩猟期間の延長(11月1日から3月31日まで)</p> <p>ハ 狩猟捕獲に対する支援 放射線物質の影響により狩猟捕獲頭数が減っていることから、狩猟捕獲に対する補助(1頭当たり5,000円、捕獲目標1,200頭)を行う。</p> <p>ニ 有害鳥獣捕獲及び個体数調整のための捕獲を行う者の資格緩和 地域ぐるみによる取組により、狩猟免許を有しない者の参加も含めて検討する。</p> <p>ホ 体制が整っていることを前提に、第四期宮城県イノシシ管理計画の重点区域市町村に対し、個体数調整に係る捕獲許可の権限移譲を検討する(既に権限が移譲されている市町村は除く。)</p> <p>ヘ 国の指定管理鳥獣捕獲等事業交付金を活用した捕獲事業を実施する。(捕獲目標4,000頭)</p> <p>ト 有識者による農作物被害防止対策(捕獲含む)のための研修会を開催。</p>	2	<p>個体数管理</p> <p>イ 捕獲目標(県全体):これまでの捕獲数と推定生息数の傾向から、狩猟、有害鳥獣捕獲、個体数調整及び指定管理鳥獣捕獲等事業の合計で12,000頭以上を目標とする。</p> <p>ロ 狩猟期間の延長(11月1日から3月31日まで)</p> <p>ハ 狩猟捕獲に対する支援 放射線物質の影響により狩猟捕獲頭数が減っていることから、狩猟捕獲に対する補助(1頭当たり5,000円、捕獲目標1,200頭)を行う。</p> <p>ニ 有害鳥獣捕獲及び個体数調整のための捕獲を行う者の資格緩和 地域ぐるみによる取組により、狩猟免許を有しない者の参加も含めて検討する。</p> <p>ホ 体制が整っていることを前提に、第四期宮城県イノシシ管理計画の重点区域市町村に対し、個体数調整に係る捕獲許可の権限移譲を検討する(既に権限が移譲されている市町村は除く。)</p> <p>ヘ 国の指定管理鳥獣捕獲等事業交付金を活用した捕獲事業を実施する。(捕獲目標3,000頭)</p> <p>ト 有識者による農作物被害防止対策(捕獲含む)のための研修会を開催。</p>	<p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>農山漁村なわい課</p>

令和6年度イノシシ管理事業実施計画(案)

宮城県

※赤字はR5計画からの変更箇所

R5計画		R6計画	
<p>チ 有害捕獲 鳥獣被害防止総合対策交付金等による農作物被害防止対策(捕獲含む)に対する補助及び研修会開催補助。</p>	<p>チ 有害捕獲 鳥獣被害防止総合対策交付金等による農作物被害防止対策(捕獲含む)に対する補助及び研修会開催補助。</p>	<p>備考 農山漁村なりわい課</p>	
<p>3 生息地の適正管理 イ 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。 ロ 活用できる補助事業等の一覧表を整理し、ホームページや各種関連会議で情報提供を行うことで、農地周辺の未整備森林の解消を支援する。</p>	<p>3 生息地の適正管理 イ 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。 ロ 活用できる補助事業等の一覧表を整理し、ホームページや各種関連会議で情報提供を行うことで、農地周辺の未整備森林の解消を支援する。</p>	<p>農山漁村なりわい課 森林整備課</p>	
<p>4 資源活用及び残渣の適正処理 イ 放射性物質検査 平成24年6月25日から出荷が制限されているイノシシ肉について、放射性物質のモニタリング調査を行う。 また、市町村等からジビエ利用に向けた出荷制限の一部解除に向けた要望があった際は、適宜必要な支援を行っていく。</p>	<p>4 資源活用及び残渣の適正処理 イ 放射性物質検査 平成24年6月25日から出荷が制限されているイノシシ肉について、放射性物質のモニタリング調査を行う。 また、市町村等からジビエ利用に向けた出荷制限の一部解除に向けた要望があった際は、適宜必要な支援を行っていく。</p>	<p>自然保護課</p>	

令和6年度イノシシ管理事業実施計画(案)

宮城県

※赤字はR5計画からの変更箇所

R5計画	R6計画	備考
<p>5 その他</p> <p>(1) 広域連携 イ 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(2) 調査研究 イ 捕獲状況調査 狩猟及び指定管理鳥獣捕獲等事業に係る「出猟カレンダー」で生息分布及び捕獲効率等を把握するとともに、有害鳥獣捕獲についても市町村に出猟カレンダーの提出について協力を呼びかける。</p> <p>国庫補助事業等を活用し、階層ベイズ法による生息数推定等の生息状況調査を実施するとともに、基礎データの収集方法や推定手法の改善について検討を行う。</p> <p>ロ 農作物被害状況調査</p> <p>(3) 計画の検証・推進 イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会イノシシ部会 県及び該当市町の事業実施計画等について専門家による検証を行うとともに、必要に応じて部会に各市町の担当者をオブザーバーとして招き、各市町の抱える問題等への助言機会の確保を図る。</p> <p>(4) 林床等の野外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 広域連携 イ 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(2) 調査研究 イ 捕獲状況調査 狩猟及び指定管理鳥獣捕獲等事業に係る「出猟カレンダー」で生息分布及び捕獲効率等を把握するとともに、有害鳥獣捕獲についても市町村に出猟カレンダーの提出について協力を呼びかける。</p> <p>国庫補助事業等を活用し、階層ベイズ法による生息数推定等の生息状況調査を実施するとともに、基礎データの収集方法や推定手法の改善について検討を行う。</p> <p>ロ 農作物被害状況調査 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会イノシシ部会 県及び該当市町の事業実施計画等について専門家による検証を行うとともに、必要に応じて部会に各市町の担当者をオブザーバーとして招き、各市町の抱える問題等への助言機会の確保を図る。</p> <p>(4) 特用林産物生産者に対し、林床等野外で栽培される特用林産物への被害防除対策について、随時情報提供を行う。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>自然保護課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>自然保護課</p> <p>林業振興課</p>

令和4年度

イノシシ管理事業実績報告書(市町村実施分)

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課





令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

白石市

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標	被害軽減目標	1 被害軽減目標		
(1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→	20.07 ha 10.40 ha	(1) 面積 6.06 ha		
(2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→	17,269 千円	(2) 金額 8,513 千円		
(3) 作物 稲、果樹、飼料作物、野菜、いも類	R3被害実績→ 7,775 千円	(3) 作物 稲、果樹、飼料作物、野菜、いも類		
(4) その他		(4) その他		
2 個体数管理	個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	2 個体数管理 個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数	0 頭 815 頭	
3 被害防除対策	(1) 電気柵・防護柵の設置に対する補助 ・廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように 農家への指導を徹底 ・狩猟免許取得者への助成	3 被害防除対策 (1) 電気柵・防護柵の設置に対する補助 ・廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように 農家への指導を徹底 ・狩猟免許取得者への助成		年間被害対策費合計 14,651 千円 捕獲事業:14,045千円 電柵等への補助金:539千円 狩猟免除補助金:67千円
4 生息地の適正管理	(1) 除草作業等、生息地の適正管理を推進	4 生息地の適正管理 (1) 除草作業等、生息地の適正管理を推進		
5 資源活用及び残渣の適正処理	(1) 白石市有害鳥獣解体場での処理や、現地での埋設等により適正に処理を行う	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 有害捕獲764頭のうち582頭を解体場で処理した。豚熱により移動制限されたため現地での埋設処理を行った。		適正かつ効率的に処理をすることができた。
6 その他	(1) 被害防除の研修会を開催し、自己防除の啓発を図る	6 その他 (1) 被害防除の情報を提供し、自己防除の啓発を図ることができた。		電気柵等対策時等に防除に関する啓発を行った。

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

角田市

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 8.00 ha R3被害実績→ 5.76 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 5,000 千円 R3被害実績→ 7,442 千円 (3) 作物 水稲、イモ類、野菜類 (4) その他 ・水田の畦畔掘り起し、損壊 ・畑、市道・農道の法面掘り起し、損壊	1 被害状況 (1) 面積 1.15 ha (2) 金額 1,215 千円 (3) 作物 水稲、いも類、野菜類 (4) その他 ・水田の畦畔掘り起し、損壊 ・畑、市道・農道の法面掘り起し、損壊	前年度と比較して面積及び金額ともに大きく減少し、角田市鳥獣被害防止計画の被害目標を下回った。被害減少の要因としては、個人や法人での電気柵等の設置による防止エリアの拡大や、有害鳥獣捕獲等及び豚熱の影響によって生息数が減少したことが推察される。今後とも、総合的な被害防止対策の展開を進めていく。	2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 900 頭	想定捕獲数には届かなかったものの一定程度は捕獲でき、捕獲圧による被害抑止に寄与した。
3 被害防除対策 (1) 狩猟免許等取得に要する経費支援(補助)及びその広報 (2) 電気柵等の設置支援(補助) (3) 食物残さの適正処理等の指導推進など	3 被害防除対策 (1) 狩猟免許等取得等に要する経費支援(補助)や広報を行った。 (2) 電気柵等の設置を支援(補助)した。 (3) 被害相談等の際に、食物残さの適正処理や侵入前の防止対策等の指導を行った。	年間被害対策費合計 6,467 千円 狩猟免許取得支援や捕獲はこわな購入支援を行ったことなどにより、捕獲圧の強化を図られた。また、市の補助事業による電気柵等の設置は年々拡大しており、食害域の縮小が進んでいるが、さらなる対応が急がれる。(R4:約5.8km) 一方、被害防止対策や周辺環境の整備に関しては、引き続き住民に対する意識啓発に努めたことにより、徐々にではあるが防除意識の浸透がみられた。	3 被害防除対策 (1) 狩猟免許等取得に要する経費支援(補助)や広報を行った。 (2) 電気柵等の設置を支援(補助)した。 (3) 被害相談等の際に、食物残さの適正処理や侵入前の防止対策等の指導を行った。	
4 生息地の適正管理 イノシシを近づけない環境整備の周知、推進(耕作放棄地解消に努めるなど。)	4 生息地の適正管理 (1) 引き続き、被害防止対策支援事業の周知と併せてイノシシを近づけない環境整備に努めるよう啓発等を行った。		4 生息地の適正管理 (1) 引き続き、被害防止対策支援事業の周知と併せてイノシシを近づけない環境整備に努めるよう啓発等を行った。	
5 資源活用及び残渣の適正処理 捕獲イノシシの適正埋却及び特定施設での焼却処分	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 捕獲イノシシについて、特定施設での焼却及び埋却処分など、適正な処分を行った。		5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 捕獲イノシシについて、特定施設での焼却及び埋却処分など、適正な処分を行った。	
6 その他 広報等による有害鳥獣被害防止対策の啓発	6 その他 (1) 広報等により有害鳥獣被害防止の意識啓発を行った。		6 その他 (1) 広報等により有害鳥獣被害防止の意識啓発を行った。	

令和4年度インシジ管理事業の実績と評価 (市町村分)

蔵王町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 3.37 ha R2被害実績→ 3.89 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 1,962 千円 R2被害実績→ 3,475 千円 (3) 作物 水稲、桃、日本梨、林檎、デントコーン、大豆、枝豆、スイートコーン、馬鈴薯、里芋 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積 1.11 ha (2) 金額 1,571 千円 (3) 作物 水稲、桃、日本梨、林檎、デントコーン、大豆、南瓜、スイートコーン、里芋、馬鈴薯 (4) その他			
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有畜鳥獣捕獲による想定捕獲数 1,000 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有畜鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭 209 頭			
3 被害防除対策 ・電気柵、耐用性隔離物の設置に対する補助を実施。 ・生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。	3 被害防除対策 (1) 電気柵設置に対する補助金 件数 19件 補助金1,465千円 ・周知チラシの配布 ・目撃報告等があった農家へ餌となる収穫放棄された菜葉や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。			年間被害対策費合計 14,297 千円 ・蔵王町農作物有畜鳥獣対策協議会町補助金 10,250 千円 ・野生鳥獣被害防止施設(電気柵等)設置事業補助金 4,000 千円 ・蔵王町狩猟免許所得促進事業補助金 677 千円 電気柵の設置状況について、農作物被害の報告があった農地の20%~30%程度が設置されているものと推察しているが完全に把握できていない。 被害金額が被害費用を上回る農地や設置に掛かる経費以上の収入が期待できる農地での普及率は高く、効果はあるとの報告を受けているが、それら以外の農地では被害防除用ネット等の設置程度に留まる傾向が強い。また、被害農地の特徴として、電気柵等の未設置は元より、生ゴミや農作物残渣が適正処理されていない傾向が多く見受けられる。
4 生息地の適正管理 耕作地に接する山側の除草を実施し、生息地の適正管理に努める。	4 生息地の適正管理 (1) 目撃や被害報告があった農家へ耕作地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出没し難い環境づくりに努めた。			豚熱の影響によりインシジの生息数が激減していると考えられる。今後の生息数や被害の推移を見ながら環境づくりに継続して努めた。
5 資源活用及び残渣の適正処理 捕獲したインシジの残渣については林地等に放置することなく、原則として持ち帰ることとし、止むを得ない場合は生態系に影響を及ぼさないよう適正に処理する。	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 捕獲個体や残渣については有畜鳥獣解体場に搬入し、解体等の処理作業を行い一般廃棄物として適正に処分した。			残渣は常に適正に処分している。 資源活用については放射性物質の影響により、国からの出荷制限指示等が出されており、当面の肉類確保した対象鳥獣の食用としての利用は困難な状況であり、原の放射性物質検査の結果及び食品の需要等を踏まえ、必要に応じて検討する。
6 その他	6 その他			

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

七ヶ宿町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ R2被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ (3) 作物 水稲、そば被害の軽減 (4) その他 牧草地の被害軽減	0.02 ha 0.03 ha 51 千円 64 千円	1 被害軽減目標 (1) 面積 0.34 ha (2) 金額 205 千円 (3) 作物 水稲、豆類、雑穀、果樹、飼料作物、野菜 (4) その他		
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	0 頭 350 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数	0 頭 34 頭	
3 被害防除対策 (1) 鳥獣害防止施設の整備 ・電気柵等の設置の推奨 ・地区別追い払い事業の支援		3 被害防除対策 (1) 昨年に続き、電気柵とワイヤーメッシュ柵の複合柵の整備と、電気柵等の設置の推奨を行った。また、追い払い活動も継続して実施した。		年間被害対策費合計 79,904 千円 今後も町単独で電気柵等設置に係る費用の補助を継続して行い、設置推奨を図る。
4 生息地の適正管理 (1) 農地周辺の除草作業の実施 ・山林に接する耕作地での山林側の除草作業の実施		4 生息地の適正管理 (1) 除草作業及び取り残り農作物の除去指導を行ったが、徹底までは至らなかった。		追い払い隊を中心に、指導改善及び周知の徹底を図る。
5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 残渣の適正処理の指導及び広報 (2) 耕作放棄地の軽減		5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 耕作放棄地の軽減には至らなかった。		行政区長や広報誌を活用し、継続的に周知を行う。
6 その他		6 その他		

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

大河原町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 2.50 ha R2被害実績→ 2.63 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 2,659 千円 (3) 作物 R2被害実績→ 2,797 千円 水稲、イモ類、枝豆等野菜類 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積 1.82 ha (2) 金額 3,448 千円 (3) 作物 水稲、イモ類等野菜類 (4) その他			
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 0 頭 150 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数 37 頭			
3 被害防除対策 (1) わな猟免許取得支援のため、免許取得に関する案内を広報掲載するとともにわな猟免許取得者に補助を行う。 (2) 上館前地区にワイヤーメッシュ柵を設置する。 (3) ワイヤメッシュ柵等防除施設設置の補助を行う。 (4) 春と秋に予察捕獲を実施する。	3 被害防除対策 (1) わな猟免許取得支援のため、免許取得に関する案内を広報掲載を行った。わな猟免許取得希望者はいなかった。 (2) 上館前地区に約1,000mワイヤーメッシュ柵を設置した。 (3) 電気柵設置4件に対し、189千円の補助を行った。 (4) 春期予察を1回、秋期予察を2回実施した。	年間被害対策費合計 3437 千円 ・農家による草刈りの徹底や周辺林地の適正な管理、防護柵の設置など、引き続き自主防除の徹底を呼びかける必要がある。 ・狩猟者の高齢化や新規狩猟者の減少により、今後捕獲隊員の確保の為、周知をさらに行う必要がある。 ・電気柵設置等の自主防除は引き続き補助金などの支援を行いながら、被害対策に取り組む必要がある。		
4 生息地の適正管理 (1) 農地周辺の耕作放棄地等の、草刈りや管理を適正に実施するよう呼びかけを強化する。	4 生息地の適正管理 (1) 被害にあった農家に対し、農地周辺の草刈りを適正に実施すると被害が減少する旨のアドバイスを行った。			被害減少のアドバイス等は引き続き行う必要がある。
5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう広報等で農家へ周知する。	5 資源活用及び残渣の適正処理			町の広報誌、ホームページにて周知を行う。
6 その他 (1) 捕獲個体の処分方法は、仙南クリーンセンターでの焼却を基本とし、埋設は補充的方法とする。	6 その他 (1) 捕獲個体の処分方法は、昨年度に引き続き仙南クリーンセンターでの焼却と埋設処分を行った。			引き続き捕獲個体の処分方法は、仙南クリーンセンターでの焼却と埋設処分を行う。

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

村田町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ R2被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ R2被害実績→ (3) 作物 水稻・豆類・飼料作物・野菜・いも類 (4) その他	2.21 ha 4.09 ha 2,482 千円 3,856 千円	1 被害軽減目標 (1) 面積 2.53 ha (2) 金額 3,061 千円 (3) 作物 水稻・豆類・いも類 (4) その他		
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	頭 690 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数	頭 186 頭	
3 被害防除対策 (1) ○電気柵(ネット柵)の設置助成を実施 ○宮城県鳥獣被害防止総合支援事業により、菅生地区・薄木地区へ電気柵3,120m・WM柵7,600mを設置 ○狩猟免許取得手数料(新規・更新)の助成の実施 ○被害防止や事故防止に関する啓発活動の実施 ○箱わな、くくりわなの補修部品の購入		3 被害防除対策 (1) ○電気柵(ネット柵)の設置助成を実施 ○宮城県鳥獣被害防止総合支援事業により、菅生地区・薄木地区へ電気柵3,120m・WM柵7,600mを設置 ○狩猟免許取得手数料(新規・更新)の助成の実施 ○被害防止や事故防止に関する啓発活動の実施 ○箱わな、くくりわなの補修部品の購入		年間被害対策費合計 27273 千円 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業を活用し、町内2地区にて電気柵とWM柵の設置を行った。 また、電気柵設置者に対して、設置費用の助成を行い、イノシシ等被害の縮減に努めた。
4 生息地の適正管理 (1) ○廃棄野菜・生ゴミの適正処理について指導する。 ○休耕地・耕作地周辺の除草作業の実施を呼びかけ、生息域の適正管理に努める。		4 生息地の適正管理 (1) ○廃棄野菜・生ゴミの適正処理について指導する。 ○休耕地・耕作地周辺の除草作業の実施を呼びかけ、生息域の適正管理に努める。		農地に隣接する私有地の山林等の管理は、費用等の課題もあり厳しい状況にある。
5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 資源活用は放射性物質検査結果と需要に応じて検討。処理は減容化処理を基本とし、状況に応じて、現地埋設または安全確認したうえでの自家消費による処理を行う。		5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 資源活用は放射性物質検査結果と需要に応じて検討。処理は減容化処理を基本とし、状況に応じて、現地埋設または安全確認したうえでの自家消費による処理を行う。		捕獲固体の処理について、減容化処理施設により計画的に実施することができた。
6 その他 (1) チラシ配布等により電気柵の補助等及び狩猟免許試験の周知を行う。		6 その他 (1) チラシ配布等により電気柵の補助等及び狩猟免許試験の周知を行う。		チラシの配布により、事業を広く周知することで、補助事業の活用が増えた。

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

柴田町

R4計画	R4実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 0.95 ha R2被害実績→ 1.36 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 1,031千円</p> <p>(3) 作物 水稲、大豆、じゃがいも、さつまいも、かぼ ちや</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.48 ha</p> <p>(2) 金額 327 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、大豆、じゃがいも、さつまいも、かぼ ちや</p> <p>(4) その他</p>	<p>農家個人が設置する電気柵や地域ぐるみで 取り組んでいる電気柵の設置効果が出てい るものと思われる。</p>
<p>2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有 害 鳥 獣 捕 獲 による想定捕獲 頭 300 頭</p>	<p>2 個体数管理 個体数調整による捕獲数 有 害 鳥 獣 捕 獲 による捕獲数 頭 62 頭</p>	<p>有 害 鳥 獣 捕 獲 62 頭 指 定 管 理 捕 獲 120 頭 狩 猟 捕 獲 29 頭</p>
<p>3 被害防除対策 (1)電気柵設置を補助する。 (2)箱わな購入費を補助する。 (3)狩猟免許試験受験者用講習会の受講 料を補助する。 (4)イノシシ捕獲者に奨励金を交付する。 (5)宮城県鳥獣被害防止総合支援事業を 活用する。</p>	<p>3 被害防除対策 (1)電気柵設置を補助した。 (2)箱わな購入費を補助した。 (3)狩猟免許試験受験者用講習会の受講 料を補助した。 (4)イノシシ捕獲者に奨励金を交付した。 (5)宮城県鳥獣被害防止総合支援事業を 活用した。</p>	<p>年間被害対策費合計 2883 千円 (内訳)町単独分 2,414,000円 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金 469,000円</p>
<p>4 生息地の適正管理 (1)除草に努めるよう啓発を行っていく。</p>	<p>4 生息地の適正管理 (1) 除草に努めるよう啓発を行った。</p>	
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p>	
<p>6 その他 (1)広報により鳥獣被害防止に関する啓発 を行う。</p>	<p>6 その他 (1) 広報により鳥獣被害防止に関する啓発を 行った。</p>	

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

川崎町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 0.99 ha R2被害実績→ 1.41 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 978 千円 R2被害実績→ 1,397 千円 (3) 作物 水稲、飼料作物・野菜(芋類、とうもろこし等) (4) その他	被害軽減目標 (1) 面積 2.45 ha (2) 金額 1,585 千円 (3) 作物 水稲、豆類、特用作物、野菜、芋類、飼料作物 (4) その他	被害面積及び被害金額は減少傾向にあることから、電気柵等の推進及び捕獲を継続的に実施し、被害減少を図る。		
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 頭 400 頭	2 個体数管理 個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数 頭 71 頭			
3 被害防除対策 (1) 捕獲隊による捕獲活動の実施 ・電気柵の普及、補助 ・狩猟免許(銃、わな)取得補助	3 被害防除対策 (1) 実施隊による捕獲活動の実施 ・電気柵等の普及、補助 ・狩猟免許(銃、わな)取得補助等	年間被害対策費合計 7,345 千円 ①R4農作物有害鳥獣駆除対策業務金 4,155千円 ②鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業費補助金 472千円 ③電気柵等補助金 2,651千円 (イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザル含む) ④狩猟免許取得補助金 67千円		
4 生息地の適正管理 (1) 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。	4 生息地の適正管理 (1) 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。			
5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 平成29年より解体処理施設稼働。	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 平成29年より解体処理施設稼働。			
6 その他	6 その他			



令和4年度イシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

丸森町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 0.50 ha R2被害実績→ 0.62 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 521 千円 R2被害実績→ 647 千円 (3) 作物 水稲、豆類、たけのこ、ジャガイモ、たまねぎ、大根、飼料用作物 (4) その他 ・家屋周辺の花壇、道路脇の掘り返しなど、農地以外での被害防止。	1 被害軽減目標 (1) 面積 0.98 ha (2) 金額 1,041 千円 (3) 作物 水稲、豆類、たけのこ、ジャガイモ、たまねぎ、大根、飼料用作物 (4) その他 ・家屋周辺の花壇、道路脇の掘り返しなど、農地以外での被害防止。			
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 1,800 頭 被害防除対策 (1) 狩猟免許及び銃砲所持許可取得者支援の補助 (2) 猟銃購入費補助 (3) 電気柵等の防除対策に対する補助	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数 175 頭 被害防除対策 (1) 狩猟免許及び銃砲所持許可取得者支援の補助 (2) 猟銃購入費補助 (3) 電気柵等の防除対策に対する補助			年間被害対策費合計 2,601 千円 ・狩猟免許及び銃砲所持許可取得支援の補助 0千円 ・猟銃購入費補助 0千円 ・電気柵等の防除対策に対する補助 2,601 千円
4 生息地の適正管理 (1) 人と野生鳥獣との住み分けのため、雑草、雑木の繁茂する荒地等の解消を呼びかける。	4 生息地の適正管理 (1) 人と野生鳥獣との住み分けのため、雑草、雑木の繁茂する荒地等の解消を呼びかけた。			・10月1日町内全戸に、被害状況と防止対策のポイントを掲載したチラシを配付した。
5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 資源活用は放射性物質検査結果と需要に応じて検討、処理は減容化処理を基本とし、状況に応じて、現地埋設。	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 資源活用は放射性物質検査結果と需要に応じて検討、処理は減容化処理を基本とし、状況に応じて、現地埋設。			同上
6 その他 (1) ・チラシによる鳥獣被害防止対策の啓発	6 その他 (1) ・チラシによる鳥獣被害防止対策の啓発			同上

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

仙台市		R4計画	R4実績	評価
1	被害軽減目標 (1) 面積 5.8ha (2) 金額 5,630千円 (3) 作物 水稻、とうもろこし、かぼちゃ、ばれいしよ、ながいも等 (4) その他 生活被害の減少や人身被害の未然防止を目指す。	被害軽減目標 (1) 面積 5.8ha (2) 金額 5,630千円 (3) 作物 水稻、とうもろこし、かぼちゃ、ばれいしよ、ながいも等 (4) その他 生活被害の減少や人身被害の未然防止を目指す。	被害軽減目標 (1) 面積 656a (2) 金額 6,961千円 (3) 作物 水稻、ながいも、かぼちゃ、ばれいしよ、落花生、青刈りトウモロコシ (4) その他 県民の森周辺で住宅地への侵入防止柵を設置した。	農作物被害面積・被害金額については、ともに目標値を達成した。
2	被害防除対策 (1) 捕獲等に関する取組 ①捕獲数及び被害地域が拡大していることを踏まえ、引き続き捕獲を強化していく。 ・農地及び農地周辺に出没するイノシシを可能な限り捕獲する。 (目標900頭/年) ・箱わなを主体に捕獲を通年で実施するとともに、くくりわなの導入を推進する。 ②箱わなの整備 地域ぐるみの捕獲対策を活用し、見回りなどの負担を軽減したうえで、箱わなを配備し、捕獲を進める。 ・追加整備数 45基 (合計508基) ・箱わなを購入する団体に対し補助を行い、集落ぐるみの取り組みを促進する。	被害防除対策 (1) 捕獲等に関する取組 ①捕獲数及び被害地域が拡大していることを踏まえ、引き続き捕獲を強化していく。 ・農地及び農地周辺に出没するイノシシを可能な限り捕獲する。 (目標900頭/年) ・箱わなを主体に捕獲を通年で実施するとともに、くくりわなの導入を推進する。 ②箱わなの整備 地域ぐるみの捕獲対策を活用し、見回りなどの負担を軽減したうえで、箱わなを配備し、捕獲を進める。 ・追加整備数 45基 (合計508基) ・箱わなを購入する団体に対し補助を行い、集落ぐるみの取り組みを促進する。	被害防除対策 (1) 捕獲等に関する取組 ①捕獲実績605頭 ・捕獲頭数はR3年度より193頭減少し、目標の900頭/年を下回った。 ・令和4年度は箱わな37基を追加配備し、通年で有害捕獲を実施した。くくりわなは30基を仙台鳥獣被害対策実施隊による捕獲活動に導入し、捕獲活動を推進した。 ②箱わなの整備 ・令和4年度は令和3年度に引き続き全体で42地区で活動を実施した。地域ぐるみの捕獲対策実施地区へは28基の箱わなを追加整備し、捕獲活動を推進した。 ・箱わな購入補助について、令和4年度は申請なし。	年間被害対策費合計23,925千円 箱わなを主体とした通年で有害捕獲の強化、くくりわなによる捕獲活動の推進を図ったものの、捕獲頭数は昨年度より24%減少した。被害は減少しているため、豚熱の影響により生息頭数が減少していることが考えられる 地域ぐるみの捕獲対策実施地区への箱わなの整備、捕獲活動の推進により、本事業による令和4年度の捕獲実績は288頭と本市有害捕獲頭数全体の47%と半数近くを占める。

③イノシシ捕獲報奨金制度

有害捕獲によるイノシシ捕獲者に対し、報奨金を支払う。  
(6,500円/頭)

④狩猟免許(銃・わな)取得のための補助

狩猟免許(銃・わな)取得のための講習会及び銃猟免許を取得のための初心者講習会受講者に対し、経費助成を行い、狩猟者の確保に努める。

⑤地域ぐるみの捕獲対策の推進

狩猟免許を有しない地域の農業者等が箱わなの見回り等に従事する地域ぐるみの捕獲対策を推進し、地域の自主防除意識の高揚を図る。

⑥緊急捕獲活動による捕獲経費の補助

捕獲活動に係る経費の負担を軽減するために、国の鳥獣被害防止総合支援事業を活用し、捕獲経費の補助を行う。

(成獣：8,000円/頭、幼獣：1,000円/頭)

⑦作業効率の良い猟具の推進

・設置における作業効率や錯誤捕獲防止に配慮し、くくりわなの使用を促進する。

・ICT等の新捕獲技術の導入を図り、効率的な捕獲を推進する。

⑧捕獲個体処理負担軽減に向けた施設設置の検討

③イノシシ捕獲報奨金制度

本制度の活用により、捕獲頭数320頭報奨金2,080,000円を支払い、イノシシの捕獲強化を図った。

④狩猟免許(銃・わな)取得のための補助

・狩猟免許(銃・わな)取得のための講習会及び銃猟免許の取得のための初心者講習会の全額助成を2件、2名に対して行い、狩猟者確保を図った。

⑤地域ぐるみの捕獲対策の推進

・令和3年度に引き続き全区で42地区、568名が捕獲活動に従事した。地域ぐるみの捕獲対策による捕獲対策は288頭であり、令和3年度の403頭からは減少したものの、依然捕獲頭数のおよそ半数を占めるなど高い割合は推移している。

⑥緊急捕獲活動による捕獲経費の補助

・本制度の活用により、捕獲頭数324頭分、報奨金2,298,000円の捕獲経費の補助を行った。(内訳 成獣282頭、幼獣42頭)

⑦作業効率の良い猟具の推進

・仙台市鳥獣被害対策実施部隊による捕獲活動にくくりわな30基を追加導入した。くくりわなによる捕獲は55頭と、令和3年度の97頭に比し低調に推移した。

・平成30年度に導入した囲いわなの遠隔監視・操作システムとわなの作動状況通知システムの運用を行い、効果的な捕獲を実施した。

⑧捕獲個体処理負担軽減に向けた施設設置の検討

・本制度の活用により、地域における捕獲意欲の向上が図られている。

・2名に対し経費助成を行い、狩猟者及び有害捕獲従事者の確保に寄与した。

・地域ぐるみの捕獲対策の推進により、本事業による捕獲頭数が増加する等、地域の自主防除意識の高揚が図られている。

・国の補助事業等の活用により、地域における捕獲意欲の向上が図られている。

・クマ錯誤捕獲防止のための措置として撤き鉗の使用中断を実施したことの影響し、くくりわなの捕獲実績については低調に推移した。

・ICT技術を活用したシステムの運用により、捕獲の効率化と従事者の負担軽減が図られている。

<p>・他の自治体の設置事例より施設の稼働状況や費用等を調査するとともに、仙台市鳥獣被害対策実施部隊や地域ぐるみでの捕獲対策従事者の意向を確認しながら、設置に向けた準備を進める。</p> <p>(2) 防護柵の設置等に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体等に対して農作物被害防止施設の設置費用を補助する。</li> </ul> <p>防護柵（電気柵等） 設置箇所約160ヶ所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に国の補助により大規模防護柵を設置した団体に維持管理費用を補助する。</li> </ul> <p>補助団体数 20団体</p>	<p>・他の自治体の施設を視察し、施設概要や稼働状況、事業費等の情報収集を行った。</p> <p>(2) 防護柵の設置等に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物被害防止施設の設置費用の補助を26団体のべ34件に対して行い、令和4年度の電気柵等被害防止施設の総整備延長は14,587mとなった。</li> </ul>	<p>・他自治体等からの情報収集により、整備に向けた準備を進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度までの電気柵等被害防止施設の設置総延長は468kmとなり、広く本補助事業が活用され、設置が進んでいる。</li> </ul>
<p>3 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イノシシの生息地となりうる耕作放棄地における草刈りの重要性について講習会等の場を通じて引き続き周知するとともに、多面的機能支払交付金及び中山間地域等直接支払制度の活用を通じて、地域の農業業者等が行う共同草刈り等の農地保全活動を支援することにより、新たな耕作放棄地の発生抑制を図っていく。</li> </ul>	<p>3 生息地の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ぐるみでの捕獲対策の講習会において、生息地の適正管理と効果的な捕獲方法等について、地域の従事者へ情報提供し、啓発を行った。また、多面的機能支払交付金及び中山間地域等直接支払制度の活用を通じて、地域の農業業者等が行う共同草刈り等の農地保全活動を支援することにより、新たな耕作放棄地の発生抑制を図った。</li> </ul>	<p>・従事者に対して、環境整備、防除対策、捕獲活動の3つの対策を総合的に取り組むことの重要性の認識が図られた。また、様々な制度を活用した耕作放棄地対策により、イノシシの生息地の拡大防止を図ることができた。</p>
<p>4 その他</p> <p>(1) 捕獲技術講習会等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的なイノシシ捕獲対策や被害防止に関する講習会等を開催する。</li> </ul> <p>(2) 広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「仙台市農政だより」や仙台市ホームページ等により、鳥獣による農作物被害防止に関する情報提供、啓発を行う。</li> </ul> <p>(3) 県等が主催する会議に参加し、被害状況や被害防止対策等の情報交換、広域連携での対応などにより、被害を防止する。</p>	<p>4 その他</p> <p>(1) 捕獲技術講習会等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ぐるみでの捕獲対策の更新及び新規事業開始のための講習会として、当該事業の従事者を対象に計5回開催した。</li> </ul> <p>(2) 広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ及び農政だよりにより仙台市農作物有害鳥獣対策協議会の活動内容や被害防止対策について情報発信を行い、啓発を行った。</li> </ul> <p>(3) 県等が主催する会議に参加し、情報収集に努めた。</p>	<p>・講習会の実施により、捕獲技術、安全性等の確保が図られた。</p> <p>・ホームページ及び農政だよりによる情報発信により、市民から一定程度の理解と協力を得ることができた。今後も引き続き、広報活動を行っていく。</p> <p>・今後も引き続き情報収集に努め、被害地域へ適切に情報提供を行っていく。</p>

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

名取市

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 3.53 ha R3被害実績→ 8.60 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 2,685 千円 (3) 作物 水稲、豆類、麦類、いも類 (4) その他		1 被害軽減目標 (1) 面積 3.90 ha (2) 金額 501 千円 (3) 作物 水稲、いも類 (4) その他		
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	頭 39 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数	0 頭 44 頭	
3 被害防除対策 ・ 実施隊による捕獲活動の実施 ・ 電気柵等の設置支援(補助) ・ 食物残渣の適正処理等の指導推進など ・ 狩猟免許試験受験者用講習会受講助成金		3 被害防除対策 (1) 実施隊による捕獲活動の実施 (2) 電気柵等の設置支援(補助) (3) 食物残渣の適正処理等の指導推進など (4) 狩猟免許試験受験者用講習会受講助成金		年間被害対策費合計 5273 千円 (1) 名取市有害鳥獣対策協議会: 4,695,582 円 (2) 市単独補助金: 578,000 円 合計: 5,273,582 円
4 生息地の適正管理 ・ 農地周辺の除草作業を推進する。		4 生息地の適正管理 (1) 農地周辺の除草作業を推進する。		
5 資源活用及び残渣の適正処理		5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)		
6 その他		6 その他 (1)		

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

岩沼市

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 0.36 ha R3被害実績→ 0.34 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 346 千円 R3被害実績→ 356 千円 (3) 作物 野菜、水稲、果樹、豆類等 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積 0.24 ha (2) 金額 440 千円 (3) 作物 野菜、いも類 (4) その他			
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数	頭 150 頭	頭 45 頭	
3 被害防除対策 (1) 電気柵の設置。 (2) 狩猟免許取得に対する補助金の支給。 (3) イノシシ捕獲経費の補助。	3 被害防除対策 (1) 侵入防止柵の設置。 (2) 狩猟免許取得に対する補助金の支給。 (3) イノシシ捕獲経費の補助。			年間被害対策費合計 3524 千円 侵入防止柵の整備が進み、前年度より対策費としては減少しているが、整備した場所以外の被害が目立つようになった。
4 生息地の適正管理 草刈り、収穫残渣の除去等に関して、啓発を行う。	4 生息地の適正管理 (1) 草刈り、収穫残渣の除去等に関して、啓発を行う。			適宜、地域によって草刈り作業や収穫残渣の除去等を行ってもらい、適正に管理され、被害軽減に繋がっている。
5 資源活用及び残渣の適正処理	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)			
6 その他	6 その他 (1)			

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

富谷市

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ (3) 作物 水稲・ジャガイモ・大豆 (4) その他	0.15 ha 0.37 ha 123 千円 390 千円	1 被害軽減目標 (1) 面積 (2) 金額 (3) 作物 水稲・ナス (4) その他	4.11 ha 1,922 千円	
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	頭 100 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数	頭 58 頭	
3 被害防除対策 (1)電気柵等設置費用助成 (2)鳥獣侵入防止ネットの設置 (3)わな設置による巡回業務 (4)ワイヤーメッシュの設置 (5)ICTを活用した捕獲効率の向上		3 被害防除対策 (1)電気柵等設置費用助成 (2)鳥獣侵入防止ネットの設置 (3)わな設置による巡回業務 (4)ワイヤーメッシュの設置 (5)ICTを活用した捕獲効率の向上		年間被害対策費合計 14581 千円 ワイヤーメッシュ設置によりイノシシの活動範囲を制限することで捕獲頭数は前年より増加したが、個体数の増加により、被害は以前多しい状況である。今後も継続してワイヤーメッシュの設置とICTを活用した被害の削減に努めていく。
4 生息地の適正管理 特になし		4 生息地の適正管理 (1) 特になし		
5 資源活用及び残渣の適正処理 特になし		5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 特になし		
6 その他 狩猟免許取得勉強会を実施		6 その他 (1) 未実施		

令和4年度イナシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

亶理町

R4計画	R4実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 R4被害軽減目標値→ 3.04 ha R4被害軽減実績→ 3.37 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 3,654 千円 R3被害実績→ 4,109 千円</p> <p>(3) 作物 水稲・果樹(りんご)</p> <p>(4) その他 野菜(馬鈴薯・スイートコーン・ホウレンソ)</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 3.38 ha</p> <p>(2) 金額 4,060 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、果樹(りんご)、豆類、野菜、いも類</p> <p>(4) その他</p>	
<p>2 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭 有雲鳥獣捕獲による想定捕獲数 200 頭 前年度は町全体で175頭の捕獲実績と</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による捕獲数 頭 (2) 有雲鳥獣捕獲による捕獲数 80 頭</p>	
<p>3 被害防除対策</p> <p>鳥の適正配置や餌の供給を滞りなく行い、捕獲体制の強化に努める。 また、近隣住民への自主防除意識の醸成を図るべく、広報誌を活用して、被害対策事業(電気柵・ワイヤーメッシュ柵設置)の周知を図る。</p>	<p>3 被害防除対策</p> <p>イナシシの生息地の変化に伴い、箱鼠設置箇所の見直しを行った。 また、近隣住民への自主防除意識の醸成を図るべく、広報誌を活用して、被害対策事業(電気柵・ワイヤーメッシュ柵設置)の周知を図った。</p>	<p>年間被害対策費合計 3991 千円 (実施隊報酬・車両代等1,650千円、補助金1,267千円、亶理町総合農政企画推進協議会鳥獣対策費1074千円) 箱鼠の適正配置に努め、イナシシへの捕獲圧を高めた。今後も関係機関と連携し捕獲体制強化に努めていく。 被害対策事業(防止柵設置助成)については、前年度を上回る件数となった。</p>
<p>4 生息地の適正管理</p> <p>住民からの被害連絡をもとに実施隊で被害調査を行い、罠設置の検討を行う。 また、被害箇所を図面に落とし込み、被害情報のデータ化を行い、生息地の特定に努める。</p>	<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 住民からの被害連絡をもとに実施隊で被害調査を行い、罠の設置を行った。 また、被害箇所を図面に落とし込み、被害情報のデータ化を行い、生息地の特定に努めた。</p>	<p>住民からの被害連絡をもとに生息地を判明し、実施隊で被害調査を行い、罠の設置に努めた。今後も迅速な対応ができるよう体制を整えていく。</p>
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p> <p>米糠については、JAから定期的に提供いただいた。野菜や果樹については、近隣農家から規格外品をいただき餌として利用予定。</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p> <p>(1) 主に米糠を餌として利用した。餌となる米糠については、JAから定期的に提供いただいた。供給体制の強化を図った。 近隣農家から規格外の果樹や野菜を頂き、餌として利用した。</p>	<p>餌となる米糠については、大量に取れる時期とそうでない時期とで供給にも影響した。今後は米糠の安定した供給について、関係機関の協力をいただきながら捕獲体制強化に努めていく。 米糠以外の餌については、近隣農家から規格外の果樹や野菜を頂き利用した。</p>
<p>6 その他</p>	<p>6 その他 (1)</p>	



令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

山元町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ (3) 作物 いも類、水稲、豆類、野菜等 (4) その他	1.95 ha 0.53 ha 1,955 千円 551 千円	1 被害軽減目標 (1) 面積 0.02 ha (2) 金額 78 千円 (3) 作物 果樹 野菜 (4) その他		豚熱の影響から、生息数が減少しているため、住民からの被害報告が減っていることが推測される。
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	頭 200 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数	頭 7 頭	
3 被害防除対策 (1)山元町鳥獣被害対策実施隊による農捕獲を実施。 (2)農家個々に電気柵、金網等を設置。 (3)農家自らが設置した電気柵、金網等の被害防止対策に要する費用の1/2を補助。 (4)町防除整備計画を策定し、計画的な防除及びイノシシ捕獲を実施。		3 被害防除対策 (1)山元町鳥獣被害対策実施隊による農捕獲を実施。 (2)農家個々に電気柵、金網等を設置。 (3)農家自らが設置した電気柵、金網等の被害防止対策に要する費用の1/2を補助。 (4)町防除整備計画を策定し、計画的な防除及びイノシシ捕獲を実施。		年間被害対策費合計 2676 千円 ・令和4年度捕獲頭数においては、前年度とほぼ変わらない数となっているが、今後は捕獲頭数及び被害が増加する可能性がある。 ・電気柵への助成申請者は4名。 ・農作物有害鳥獣対策協議会(決算額から) 2,564千円 ・農作物等鳥獣被害対策事業補助金(電気柵) 112千円
4 生息地の適正管理 (1)イノシシの出沒区域が拡大しつつある為、生息域拡大を抑制する。		4 生息地の適正管理 (1) (1)イノシシの出沒区域が拡大しつつある為、生息域拡大を抑制する。		生息範囲の拡大、生息数の増加傾向にある。沿岸部付近まで被害が広まっていることから、防除に関しての周知の徹底を行う必要がある。また、被害が拡大するようであれば、防除策を講じる必要もある。
5 資源活用及び残渣の適正処理		5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)		
6 その他 (1)町内の狩猟登録者の高齢化に伴い、新規狩猟免許取得者へ対する取得費用の補助を行い、新たな狩猟登録者を発掘する。 (2)電気柵、免許取得補助に関する情報を広報に掲載。 (3)狩猟登録者に研修会、射撃大会等に参加してもらい技術の向上を図る。		6 その他 (1)町内の狩猟登録者の高齢化に伴い、新規狩猟免許取得者へ対する取得費用の補助を行い、新たな狩猟登録者を発掘する。 (2)電気柵、免許取得補助に関する情報を広報に掲載。 (3)狩猟登録者に研修会、射撃大会等に参加してもらい技術の向上を図る。		免許取得補助に関する情報を町広報等により掲載し、相談者の増加を図り、補助金助成に繋がるよう努めている。 今後、補助金に係る情報の周知を継続する。

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

松島町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ (3) 作物 R3被害実績→ 水稲・いも類・タケノコ (4) その他	1.00 ha 0.90 ha 100 千円 77 千円	1 被害軽減目標 (1) 面積 (2) 金額 (3) 作物 水稲・人参・大根・タケノコ・いも類 (4) その他	77.00 ha 898 千円	
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	頭 10 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数	0 頭 1 頭	
3 被害防除対策 わな設置による巡回業務		3 被害防除対策 わな設置による巡回業務		年間被害対策費合計 254 千円 ・見まわり現地調査等 ・止めさし処分
4 生息地の適正管理 特になし		4 生息地の適正管理 (1) 特になし		特になし
5 資源活用及び残渣の適正処理 特になし		5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 特になし		特になし
6 その他		6 その他 (1) 特になし		特になし

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

利府町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 0.80 ha R3被害実績→ 0.99 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 932 千円 (3) 作物 水稲、バレイシヨ、カボチャ (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積 1.31 ha (2) 金額 2,018 千円 (3) 作物 水稲、バレイシヨ、カボチャ (4) その他			
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数	頭 10 頭	頭 28 頭	
3 被害防除対策 チラシによる広報活動 有害鳥獣駆除 被害防止施設(電気柵等)の設置普及・ 購入補助	3 被害防除対策 チラシによる広報活動 有害鳥獣駆除 被害防止施設(電気柵等)の設置普及・ 購入補助			年間被害対策費合計 1,346 千円 町広報誌にて注意喚起を行っている。また、イノシシの捕獲については地元猟友会に委託し、有害鳥獣駆除を行っている。また、被害防止施設の補助金交付実績については、12件に対し補助金交付を行った。 対策費内訳(消耗品費 60,636円)、(委託費 545,160円)、(備品購入費 105,600円)、(補助金 635,000円)
4 生息地の適正管理 耕作放棄地などにおける草刈りの啓発 農作物残渣等の誘引物の適正な処理	4 生息地の適正管理 (1) 耕作放棄地などにおける草刈りの啓発 農作物残渣等の誘引物の適正な処理			町広報誌にて啓発を行った。
5 資源活用及び残渣の適正処理	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)			
6 その他	6 その他 (1)			

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

大和町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積 R4被害軽減目標値→ 17.5 ha R3被害実績→ 18.73 ha (2) 金額 R4被害軽減目標値→ 12,122 千円 R3被害実績→ 15,951 千円 (3) 作物 水稲、大豆、ばれいしよ、かぼちゃ (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積 13.96 ha (2) 金額 15,995 千円 (3) 作物 水稲、大豆、ばれいしよ、かぼちゃ、ネギ、セリ、栗、大根、ソバ (4) その他	被害軽減目標	被害軽減目標	狩猟免許を取得する方に対しての補助を継続して行い捕獲対策の強化を図った。また、侵入防止施設購入費への補助や、広域でのワイヤーメッシュ柵の設置、環境対策として町民への情報提供と農地の除草等の指導を実施した。 これらの対策により、被害が減少している。
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 450 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数 187 頭	個体数管理	個体数管理	有害捕獲頭数は前年度の0.84倍に減少している。
3 被害防除対策 ・未収穫農作物を適正管理するよう農家へ指導。 ・侵入防止対策等の指導。 ・ワイヤーメッシュ柵の購入及び設置。 ・狩猟免許取得に係る補助制度の実施に伴う狩猟者の確保及び捕獲対策の強化 ・被害防止施設購入費の補助 ・ICT導入による捕獲作業の負担軽減	3 被害防除対策 ・未収穫農作物を適正管理するよう農家へ指導。 ・侵入防止対策等の指導。 ・ワイヤーメッシュ柵の購入及び設置。 ・狩猟免許取得に係る補助制度の実施による狩猟者の確保及び捕獲対策の強化 ・被害防止施設購入費の補助 ・ICT導入による捕獲作業の負担軽減	被害防除対策	被害防除対策	年間被害対策費合計 31269 千円 被害対策として、各地区において侵入防止柵の設置及びイノシシの捕獲を行っていることにより、被害が減少している。
4 生息地の適正管理 追い払い等	4 生息地の適正管理 (1)刈り払い等	生息地の適正管理	生息地の適正管理	被害軽減につながった。
5 資源活用及び残渣の適正処理 農作物収穫残渣の除去	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 農作物収穫残渣の除去	資源活用及び残渣の適正処理	資源活用及び残渣の適正処理	被害軽減につながった。
6 その他	6 その他 (1) 防護柵設置 11,550m	その他	その他	被害軽減につながった。

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

大郷町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積 R4被害軽減目標値→ 0.40 ha R3被害実績→ 0.51 ha (2) 金額 R4被害軽減目標値→ 400 千円 R3被害実績→ 535 千円 (3) 作物 水稲、バレイショ (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積 0.28 ha (2) 金額 417 千円 (3) 作物 水稲、ばれいしょ (4) その他			
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 120 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数 43 頭			
3 被害防除対策 ・捕獲隊による捕獲活動の実施 ・狩猟免許取得に係る補助制度の実施 ・被害防止施設購入費の補助	3 被害防除対策 ・捕獲隊による捕獲活動の実施 ・狩猟免許取得に係る補助制度の実施 ・被害防止施設購入費の補助			年間被害対策費合計 906 千円 大郷町農作物有害鳥獣対策協議会令和4年度緊急対策費(イノシシ・熊対策費)として454千円(協議会会計) 狩猟免許取得助成として30千円(町補助事業) 被害防止施設購入助成として422千円(町補助事業)
4 生息地の適正管理	4 生息地の適正管理 (1)			
5 資源活用及び残渣の適正処理	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)			
6 その他	6 その他 (1)			

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

大衡村

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 1.40 ha R3被害実績→ 1.47 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 1,400 千円 (3) 作物 R3被害実績→ 1,401 千円 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積 0.57 ha (2) 金額 580 千円 (3) 作物 水稲、野菜 (4) その他			
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 100 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数 73 頭			
3 被害防除対策 ・未収穫農作物を適正処理するよう農家へ指導する。 ・電気柵及び防護柵設置の補助を行う。 ・免許取得者に対する助成を行う。	3 被害防除対策 ・未収穫農作物を適正処理するよう農家へ指導した。 ・電気柵及び防護柵設置の補助を行った。 ・免許取得者に対する助成を行った。			年間被害対策費合計 1,810 千円 ・有害鳥獣防止施設購入事業補助金 1,708,000円 ・狩猟免許等取得・更新費補助金 101,500円
4 生息地の適正管理 ・草刈り、収穫残渣の除去等に関して、啓発を行う。	4 生息地の適正管理 (1) 草刈り、収穫残渣の除去等に関して、啓発を行った。			イノシシとの棲み分けを図るために緩衝帯の整備をしなければならない。
5 資源活用及び残渣の適正処理 イノシシの食糧になるような残渣を残さない。	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) イノシシの食糧になるような残渣を残さないようにした。			村広報誌等で周知しているところであるが、さらに呼びかけが必要。
6 その他 イノシシの生態等を知るために研修会を行う。	6 その他 (1) 新型コロナウイルス感染症の影響で研修会の開催はできなかったため、イノシシの生態等について広報で周知した。			村広報誌等で周知しているところであるが、さらに呼びかけが必要。

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

大崎市

R4計画	R4実績	評価
<p>1 被害軽減目標                      (1) 面積(下段前年度実績)                          R4被害軽減目標値→ 5.00 ha                          R3被害実績→ 5.61 ha                      (2) 金額(下段前年度実績)                          R4被害軽減目標値→ 4,500 千円                          R3被害実績→ 4,610 千円                      (3) 作物                          稲, 飼料作物, 野菜, いも類                      (4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標                      (1) 面積                          5.94 ha                      (2) 金額                          3,964 千円                      (3) 作物                          水稻, 野菜, イモ類                      (4) その他</p>	
<p>2 個体数管理                      個体数調整による日標捕獲数 頭                      有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 1500 頭</p>	<p>2 個体数管理                      (1) 個体数調整による捕獲数 頭                      (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数 373 頭</p>	
<p>3 被害防除対策                      電気柵の設置を行う。                      物理柵の設置を行う。</p>	<p>3 被害防除対策                      補助金を活用した電気柵の設置件数                      121件                      物理柵設置8,500m</p>	<p>年間被害対策費合計 26,119 千円</p>
<p>4 生息地の適正管理</p>	<p>4 生息地の適正管理                      (1)</p>	
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理                      (1)</p>	
<p>6 その他                      広報等により鳥獣被害防止に関する啓                      発等を行う。</p>	<p>6 その他                      (1) Webサイトに電気柵設置補助金について                      掲載。</p>	

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

色麻町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 16.92 ha R3被害実績→ 4.08 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 2,666 千円 (3) 作物 水稲、野菜等 (4) その他		1 被害軽減目標 (1) 面積 0.67 ha (2) 金額 147 千円 (3) 作物 水稲 (4) その他		
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭		2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数 46 頭		
3 被害防除対策 ・チラシ配布による広報活動 ・有線放送による注意喚起 ・狩猟免許等を取付した者及び更新した者(色麻町)に交付する。 ・鳥獣被害対策アドバイザーによる現地指導等。 ・宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用し、侵入防止策の取組や被害防除研修会等を開催する。(主体は色麻町有害鳥獣対策協議会)。		3 被害防除対策 ・チラシ配布による広報活動 ・有線放送による注意喚起 ・狩猟免許等を取付した者及び更新した者に対し、助成金を交付する。(色麻町狩猟免許取得等助成金)。 ・鳥獣被害対策アドバイザーによる現地指導等。 ・宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用し、侵入防止策の取組や被害防除研修会等を開催する。(主体は色麻町有害鳥獣対策協議会)。		年間被害対策費合計 12,218 千円 ・色麻町狩猟免許取得等助成金 359 千円 ・色麻町鳥獣被害対策実施隊員報酬 275 千円 ・色麻町鳥獣被害対策実施隊員費用弁償 184 千円 ・鳥獣被害対策アドバイザー 3,410 千円 ・宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金 7,990 千円
4 生息地の適正管理 地域が主体となり、生息地の適正管理(定期的な草刈り等)に努める。 5 資源活用及び残渣の適正処理		4 生息地の適正管理 (1) 地域が主体となり、生息地の適正管理(定期的な草刈り等)を行った。 5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 地域が主体となり、適正に処理した。		
6 その他		6 その他 (1)		



令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

加美町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 124.40 ha R3被害実績→ 155.59 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 10,070 千円 (3) 作物 R3被害実績→ 12,588 千円 水稻、豆類、飼料作物、野菜 (4) その他	被害軽減目標 (1) 面積 9.83 ha (2) 金額 10,702 千円 (3) 作物 水稻、野菜、飼料作物 (4) その他			
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 頭 280 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 頭 163 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数			
3 被害防除対策 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用し、侵入防止策の設置や被害防除研修会等を開催する。	被害防除対策 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用し、侵入防止策の設置や被害防除研修会等を開催する。			年間被害対策費合計 33,321 千円 集落ぐるみで被害防止に取り組み、 今後も継続的な支援が必要である
4 生息地の適正管理 地域が主体となり、生息域の適正管理(定期的な草刈り等)に努める。	生息地の適正管理 (1) 地域が主体となり、生息域の適正管理(定期的な草刈り等)に努める。			
5 資源活用及び残渣の適正処理 現在、捕獲したものが解体した残渣については、焼却処分を行っている。今後、捕獲頭数の増加が予測されることから解体施設設置について検討中	資源活用及び残渣の適正処理 (1) 現在、捕獲したものを解体し残渣については、焼却処分を行っている。捕獲頭数を減少傾向だが実施隊の負担軽減のため、R6に解体処理施設を建設予定			現在解体処理施設をR6年度に建設予定
6 その他	その他 (1) 実施隊によるパトロールを実施する。			今後も継続してパトロールを実施する

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

栗原市

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 4.00 ha R3被害実績→ 5.60 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 4,900 千円 R3被害実績→ 6,127 千円 (3) 作物 水稲、野菜(ばれいしよ、かんしよ、かぼちゃ) (4) その他 ホールクroppサイレージ、田畑(畦畔、水路)、道路(のり面)	1 被害軽減目標 (1) 面積 5.28 ha (2) 金額 5,315 千円 (3) 作物 水稲、飼料作物(牧草)、野菜(ばれいしよ、かんしよ、ねぎ、はくさい、ほか) (4) その他 田畑(畦畔・休耕田)、道路(のり面)、ホールクroppサイレージ			
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数	0 頭 300 頭	0 頭 267 頭	
3 被害防除対策 ・防護柵(電気柵等)設置の補助を行う。 ・目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図る。 ・狩猟免許等取得支援のための補助を行い、実施隊員の増加を図る。 ・ワイヤーメッシュ柵設置による広域的な被害防止対策の実施。	3 被害防除対策 ・個人に対し防護柵(電気柵等)設置補助(216件) ・狩猟免許・猟銃所持許可取得の補助(13件) ・交付金によるワイヤーメッシュ柵設置(3地区計5,372m) ・目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図る。			年間被害対策費合計 19,037 千円 ◎農作物有害鳥獣被害防除設備設置事業補助金 7,403千円 ◎狩猟免許取得及び銃所持許可取得事業補助金221千円 ◎鳥獣被害防止総合支援事業交付金 11,413千円
4 生息地の適正管理 耕作地に接する山林側の除草を実施し、生息地の適正管理に努める。	4 生息地の適正管理 (1) 被害現場確認の際、周囲の状況に応じて被害者に自主防除策として除草を道直指示した			◎被害状況報告等に応じ、随時対応を実施し
5 資源活用及び残渣の適正処理	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 被害現場確認の際、被害力所に放置されている農作物等の残渣の処理を指示した			◎被害状況報告等に応じ、随時対応を実施し
6 その他 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図り、目撃並びに被害箇所での現地確認等を実施する。	6 その他 (1) 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図り、目撃並びに被害箇所での現地確認等を実施した。			◎防災行政無線、安心安全メール配信、行政区長等への周知連絡を即時的に実施し、市民の安全確保に努めた。

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

石巻市

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積 R4被害軽減目標値→ R4被害実績→ R3被害実績→ (2) 金額 R4被害軽減目標値→ R4被害実績→ (3) 作物 水稲 (4) その他	0.13 ha 0.14 ha 137 千円 146 千円	1 被害軽減目標 (1) 面積 0.00 ha (2) 金額 0 千円 (3) 作物 (4) その他		
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 くくりわな等による有害鳥獣捕獲を行う。 3 被害防除対策 市内及び隣接市町村での目撃情報及び 効果的な防除方法の収集を行い、必要に 応じて地域への情報提供を行う。	0 頭 10 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数 15 頭 3 被害防除対策 目撃情報等を積極的に収集し、猟友会へ 情報提供することで、捕獲を推進した。		年間被害対策費合計 - 千円 被害対策のため、引き続き積極的な捕獲を 推進する。
4 生息地の適正管理 緩衝帯整備の出役賃金を助成し、地域で の緩衝帯整備促進を図る。		4 生息地の適正管理 (1) ニホンジカ被害対策と並行して緩衝帯 整備を実施した。		引き続き、ニホンジカ対策と並行して生息地 の適正管理を推進する。
5 資源活用及び残渣の適正処理 適切に埋設処理を行う。		5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 埋設などにより適切に処理を行った。		引き続き、埋設などによる適切な処理を推 進する。
6 その他		6 その他 (1)		

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

登米市

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ (3) 作物 R3被害実績→ (4) その他	0.02 ha 0.02 ha 68 千円 68 千円	1 被害軽減目標 (1) 面積 0.01 ha (2) 金額 21 千円 (3) 作物 いも類 (4) その他		
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	頭 20 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数	0 頭 3 頭	
3 被害防除対策 被害農家に対し、圃場への侵入防止対策を講じるように指導 防護柵等設置に対する補助金制度の周知		3 被害防除対策 被害農家に対し、圃場への侵入防止対策を講じるように指導 防護柵等設置に対する補助金制度の周知		年間被害対策費合計 768 千円 被害対策をしていない被害農家に対し、追払い及び侵入防止対策(柵などの設置)を講ずるよう指導した。被害対策したにもかかわらず被害を受けた農家については有害捕獲を実施した。 また、防護柵設置等に対する補助金制度の周知を行い、その結果、侵入防止ネット設置等の対策は講じられた圃場が多く見られるようになった。 【令和4年度防護柵等設置事業実績:20
4 生息地の適正管理 生息区域の把握		4 生息地の適正管理 (1) 生息区域の把握		目撃情報を収集した。
5 資源活用及び残渣の適正処理 資源活用を行う際は、食品衛生法等の関係法令等に基づいた適切な処理を行う。残渣が発生した場合は、本市クリーンターにて焼却処理を行う。		5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 資源活用を行う際は、食品衛生法等の関係法令等に基づいた適切な処理を行った。残渣が発生した場合は、本市クリーンターにて焼却処理を行った。		自家消費、残渣に焼却処理について適切に行うことができた。
6 その他		6 その他 (1)		

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価（市町村分）

気仙沼市

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ (3) 作物 水稲・野菜 (4) その他	0.08 ha 0.11 ha 39 千円 129 千円	1 被害軽減目標 (1) 面積 0.16 ha (2) 金額 174 千円 (3) 作物 水稲・野菜等 (4) その他		
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	頭 60 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数		
3 被害防除対策		3 被害防除対策 農地周辺に防護ネットや電気柵を設置した際に、みやぎ環境税を活用し補助金を交付する。		年間被害対策費合計 1,133 千円 40,240千円(市決算(見込)18,239千円+協議会決算22,001千円)×34頭/1,208頭=1,133千円
4 生息地の適正管理		4 生息地の適正管理 (1)		
5 資源活用及び残渣の適正処理		5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)		
6 その他		6 その他 (1)		

令和4年度イノシシ管理事業の実績と評価 (市町村分)

南三陸町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (3) 作物 (4) その他	0.50 ha 0.90 ha 2,000 千円 2,662 千円	1 被害軽減目標 (1) 面積 (2) 金額 (3) 作物 水稲、野菜 (4) その他	0.99 ha 1,101 千円	被害金額が減少しているが、対象作物の 違いによるものであり、被害面的には増 加傾向にある。
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	頭 25 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数	頭 14 頭	支援事業による捕獲数は、想定を下回っ ているが、指定管理事業と合わせた捕獲数 は、想定捕獲数を上回っている。
3 被害防除対策 (1) 関係機関との情報共有 (2) 電気柵の設置に対する補助		3 被害防除対策 (1) 関係機関との情報共有 (2) 電気柵の設置に対する補助(継続)		年間被害対策費合計 819 千円 これまでに引き続き、町単事業で電気柵 設置に対する助成を実施した。(R4年度補 助金交付実績:5件)
4 生息地の適正管理 適切に除草を行うなど、適正管理の周知 に努める。		4 生息地の適正管理 (1) 適切に除草を行うなど、適正管理の周知 に努める。		広報により、環境整備の重要性を呼び掛けた。 ① 野菜残さを放置しない ② 果樹は適切に収穫する ③ 草刈や木を切るなど、動物の住処を減らす
5 資源活用及び残渣の適正処理 町有地内の埋却場に埋却		5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 町有地内の埋却場に埋却		町有地内の埋却場に埋却
6 その他		6 その他 (1)		

令和5年度

イノシシ管理事業実施計画書(市町村実施分)

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課





令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

白石市

R4実績		R5計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 6.06 ha (2) 金額(下段前年度実績) 8,513 千円 (3) 作物 稲、果樹、飼料作物、野菜、いも類 (4) その他	被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 9.88 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 20.07 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 7,387 千円 (自動入力)R4被害軽減目標値 17,269 千円 (3) 作物 稲、果樹、飼料作物、野菜、いも類 (4) その他			
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 815 頭	個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 2000 頭			
3 被害防除対策 (1) 電気柵・防護柵の設置に対する補助 ・廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように 農家への指導を徹底 ・狩猟免許取得者への助成	被害防除対策 (1) 電気柵・防護柵の設置に対する補助 ・廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように 農家への指導を徹底 ・狩猟免許取得者への助成			年間被害対策費合計 41,913 千円 捕獲事業:38,000千円 電柵等への補助金:3,791千円 狩猟免除補助金:122千円
4 生息地の適正管理 (1) 除草作業等、生息域の適正管理を推進	生息地の適正管理 (1) 除草作業等、生息域の適正管理を推進			
5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 有害捕獲764頭のうち582頭を解体場で処理した。豚糞により移動制限されたため現地での埋設処理を行った。	資源活用及び残渣の適正処理 (1) 白石市有害鳥獣解体場での処理や、現地での埋設等により適正に処理を行う			
6 その他 (1) 被害防除の情報を提供し、自己防除の啓発を図ることができた。	その他 (1) 被害防除の研修会を開催し、自己防除の啓発を図る			

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

角田市

R4実績		R5計画	備考
<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績)</p> <p>1.15 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績)</p> <p>1,215 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、いも類、野菜類</p> <p>(4) その他 ・水田の畦畔掘り起し、損壊 ・畑、市道・農道の法面掘り起し、損壊</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 8.00 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 8.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 5,000 千円 (自動入力)R4被害軽減目標値 5,000 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、イモ類、野菜類</p> <p>(4) その他 ・水田の畦畔掘り起し、損壊 ・畑、市道・農道の法面掘り起し、損壊</p>		
<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数 171 頭</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 500 頭</p>		
<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 狩猟免許等取得等に要する経費支援(補助)や広報を行った。</p> <p>(2) 電気柵等の設置を支援(補助)した。</p> <p>(3) 被害相談等の際し、食物残さの適正処理や侵入前の防止対策等の指導を行った。</p>	<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 狩猟免許等取得等に要する経費支援(補助)及びその広報</p> <p>(2) 電気柵等の設置支援(補助)</p> <p>(3) 食物残さの適正処理等の指導推進など</p>		年間被害対策費合計 10,489 千円
<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 引き続き、被害防止対策支援事業の周知と併せてイノシシを近づけない環境整備に努めるよう啓発等を行った。</p>	<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) イノシシを近づけない環境整備の周知、推進(耕作放棄地解消に努めるなど。)</p>		
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p> <p>(1) 捕獲イノシシについて、特定施設での焼却及び埋却処分など、適正な処分を行った。</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p> <p>(1) 捕獲イノシシの適正埋却及び特定施設での焼却処分</p>		放射性物質放出の影響でジビエ活用は困難
<p>6 その他</p> <p>(1) 広報等により有害鳥獣被害防止の意識啓発を行った。</p>	<p>6 その他</p> <p>(1) 広報等による有害鳥獣被害防止対策の啓発</p>		

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

蔵王町

R4実績	R5計画	備考
<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 1.11 ha (2) 金額(下段前年度実績) 1,571 千円 (3) 作物 水稲, 桃, 日本梨, 林檎, デントコーン, 大豆, 南瓜, スイートコーン, 里芋, 馬鈴薯 (4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) 3.37 ha R5被害軽減目標値→ 3.37 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 (2) 金額(下段前年度計画) 1,962 千円 R5被害軽減目標値→ 1,962 千円 (自動入力)R4被害軽減目標値 1,962 千円 (3) 作物 (自動入力)R4被害軽減目標値 1,962 千円 水稲, 桃, 日本梨, 林檎, デントコーン, 大豆, 南瓜, スイートコーン, 里芋, 馬鈴薯 (4) その他</p>	
<p>2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標補獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定補獲数 209 頭</p>	<p>2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標補獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定補獲数 1000 頭</p>	
<p>3 被害防除対策 (1) 電気柵設置に対する補助金 1,465千円 件数 19件 補助金1,465千円 ・周知チラシの配布 ・目撃報告等があった農家へ餌となる収獲放棄された果樹や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。</p>	<p>3 被害防除対策 (1) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。 ・生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。</p>	<p>年間被害対策費合計 10,719 千円 ・蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 7,250千円 ・野生鳥獣被害防止施設(電気柵等)設置事業補助金 2,740千円 ・蔵王町狩猟免許所得促進事業補助金 729千円</p>
<p>4 生息地の適正管理 (1) 目撃や被害報告があった農家へ耕作地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出没しにくい環境づくりを行った。</p>	<p>4 生息地の適正管理 (1) 耕作地に接する山側の除草を実施し、生息地の適正管理に努める。</p>	
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 捕獲個体や残渣については有害鳥獣解体場に搬入し、解体等の処理作業を行い一般廃棄物として適正に処分した。</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 捕獲したイノシシの残渣については林地等に放置することなく、原則として持ち帰ることとし、止むを得ない場合は生態系に影響を及ぼさないよう適正に処理する。</p>	
<p>6 その他</p>	<p>6 その他</p>	

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

七ヶ宿町

R4実績		R5計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績) 0.34 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) 205 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、豆类、雑穀、果樹、飼料作物、野菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値 0.27 ha 0.02 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値 164 千円 51 千円</p> <p>(3) 作物 飼料作物、水稲</p> <p>(4) その他</p>		
<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 34 頭</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 250 頭</p>		
<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 昨年に続き、電気柵とワイヤーメッシュ柵の複合柵の整備と、電気柵等の設置の推奨を行った。また、追払い活動も継続して実施した。</p>	<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 鳥獣害防止施設の整備 ・電気柵等設置の推奨 ・地区別追払い事業の支援</p>	<p>年間被害対策費合計 17,223 千円</p> <p>電気柵等の設置を推奨し、町としても国の事業を活用し、鳥獣害防止施設の整備を行う。また、町単独事業で電気柵等設置に係る経費の5分の4の補助を行う。</p>	
<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 除草作業及び取り残り残し農作物の除去指導を行ったが、徹底までは至らなかった。</p>	<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 農地周辺の除草作業の実施 ・山林に接する耕作地での山林側の除草作業の実施</p>	<p>行政区長や広報誌を活用し周知を図る。</p>	
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p> <p>(1) 耕作放棄地の軽減には至らなかった。</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p> <p>(1) 残渣の適正処理の指導及び広報 (2) 耕作放棄地の軽減</p>	<p>行政区長や広報誌を活用し周知を図る。</p>	
<p>6 その他</p>	<p>6 その他</p>		

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

大河原町

R4実績	R5計画	備考
<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 1.82 ha (2) 金額(下段前年度実績) 3,448 千円 (3) 作物 水稲、イモ類等野菜類 (4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 1.80 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 2.50 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 3,000 千円 (自動入力)R4被害軽減目標値 2,659 千円 (3) 作物 水稲、イモ類等野菜類 (4) その他</p>	
<p>2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 37 頭</p>	<p>2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 150 頭</p>	
<p>3 被害防除対策 (1) わな猟免許取得支援のため、免許取得に関する案内を広報掲載を行った。わな免許取得希望者はいなかった。 (2) 上館前地区に約1,000mワイヤーメッシュ柵を設置した。 (3) 電気柵設置4件に対し、189千円の補助を行った。 (4) 春期予察を1回、秋期予察を2回実施した。</p>	<p>3 被害防除対策 (1) わな猟免許取得支援のため、免許取得に関する案内を広報掲載するとともにわな免許取得者に補助を行う。 (2) ワイヤメッシュ柵等防除施設設置の補助を行う。 (3) 春と秋に予察捕獲を実施する。</p>	<p>年間被害対策費合計 4894 千円 昨年度よりも自主防除支援の補助金を使用するため、町広報誌やホームページにて呼びかけを行う。</p>
<p>4 生息地の適正管理 (1) 被害にあった農家に対し、農地周辺の草刈りを適正に実施すると被害が減少する旨のアドバイスを行った。</p>	<p>4 生息地の適正管理 (1) 農地周辺の耕作放棄地等の、草刈りや管理を適正に実施するよう呼びかけを強化する。</p>	
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 町の広報誌、ホームページにて周知を行う。</p>	
<p>6 その他 (1) 捕獲個体の処分方法は、昨年度に引き続き仙南クリーンセンターでの焼却と埋設処分を行った。</p>	<p>6 その他 (1) 捕獲個体の処分方法は、仙南クリーンセンターでの焼却を基本とし、埋設は補充的方法とする。</p>	

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

村田町

R4実績	R5計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績) 2.53 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) 3,061千円</p> <p>(3) 作物 水稲・豆類・いも類</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 2.21 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 2.21 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 2,482千円</p> <p>(3) 作物 (自動入力)R4被害軽減目標値 2,482千円 水稲・豆類・いも類</p> <p>(4) その他</p>	
<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による目標捕獲数 0頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 186頭</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 670頭</p>	
<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵(ネット柵)の設置助成を実施 ○宮城県鳥獣被害防止総合支援事業により、菅生地区・薄木地区へ電気柵3,120m・WM柵7,600mを設置 ○狩猟免許取得手数料(新規・更新)の助成の実施 ○被害防止や事故防止に関する啓発活動の実施 ○箱わな、くくりわなの補修部品の購入</p>	<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵(ネット柵)の設置助成を実施 ○宮城県鳥獣被害防止総合支援事業により、小泉小谷地区・薄木地区・沼田地区へWM柵3,077mを設置 ○狩猟免許取得手数料(新規・更新)の助成の実施 ○被害防止や事故防止に関する啓発活動の実施 ○箱わな、くくりわなの補修部品の購入</p>	<p>年間被害対策費合計 22884千円</p>
<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 廃棄野菜・生ゴミの適正処理について指導する。 ○休耕地・耕作地周辺の除草作業の実施を呼びかけ、生息地の適正管理に努める。</p>	<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 廃棄野菜・生ゴミの適正処理について指導する。 ○休耕地・耕作地周辺の除草作業の実施を呼びかけ、生息地の適正管理に努める。</p>	
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p> <p>(1) 資源活用は放射性物質検査結果と必要に応じて検討。処理は減容化処理を基本とし、状況に応じて、現地施設または安全確認したうえで自家消費による処理を行う。</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p> <p>(1) 資源活用は放射性物質検査結果と必要に応じて検討。処理は減容化処理を基本とし、状況に応じて、現地施設または安全確認したうえで自家消費による処理を行う。</p>	
<p>6 その他</p> <p>(1) チラシ配布等により電気柵の補助等及び狩猟免許試験の周知を行う。</p>	<p>6 その他</p> <p>(1) チラシ配布等により電気柵の補助等及び狩猟免許試験の周知を行う。</p>	

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

柴田町

R4実績		R5計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 0.48 ha (2) 金額(下段前年度実績) 327 千円 (3) 作物 水稲、大豆、じゃがいも、さつまいも、かぼ ちや (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値 0.95 ha 0.95 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 1,031 千円 (3) 作物 (自動入力)R4被害軽減目標値 1,031 千円 水稲、大豆、じゃがいも、さつまいも、かぼ ちや (4) その他	被害軽減目標の面積と金額については、令和3年度に作成した柴田町鳥獣被害防止計画の令和6年度目標値を入れている。		
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 0 頭 62 頭	2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 300 頭			
3 被害防除対策 (1)電気柵設置を補助した。 (2)箱わな購入費を補助した。 (3)狩猟免許試験受験者用講習会の受講料を補助した。 (4)イノシシ捕獲者に奨励金を交付した。 (5)宮城県鳥獣被害防止総合支援事業を活用した。	3 被害防除対策 (1)電気柵設置を補助する。 (2)箱わな購入費を補助する。 (3)狩猟免許試験受験者用講習会の受講料を補助する。 (4)イノシシ捕獲者に奨励金を交付する。 (5)宮城県鳥獣被害防止総合支援事業を活用する。			年間被害対策費合計 6143 千円 (内訳)町単独分 5,678,000円 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金 465,000円
4 生息地の適正管理 (1)除草に努めるよう啓発を行った。	4 生息地の適正管理 (1)除草に努めるよう啓発を行っていく。			
5 資源活用及び残渣の適正処理	5 資源活用及び残渣の適正処理			
6 その他 (1)広報により鳥獣被害防止に関する啓発を行った。	6 その他 (1)広報により鳥獣被害防止に関する啓発を行った。			

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

川崎町

R4実績	R5計画	備考
<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 2.45 ha (2) 金額(下段前年度実績) 1,585 千円 (3) 作物 水稻、豆類、特用作物、野菜、芋類、飼料作物 (4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 1.72 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 0.99 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 1,110 千円 (3) 作物 (自動入力)R4被害軽減目標値 978 千円 水稻、豆類、特用作物、野菜、芋類、飼料作物 (4) その他</p>	<p>昨年と比較して約3割減を目標としている。</p>
<p>2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 71 頭</p>	<p>2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 74 頭</p>	
<p>3 被害防除対策 (1) 実施隊による捕獲活動の実施 ・電気柵等の普及、補助 ・狩猟免許(銃、わな)取得補助等</p>	<p>3 被害防除対策 (1) 実施隊による捕獲活動の実施 ・電気柵等の普及、補助 ・狩猟免許(銃、わな)取得補助</p>	<p>年間被害対策費合計 8,313 千円 ①R5農作物有害鳥獣駆除対策業務金 4,621千円 ②鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業費補助金 592千円 ③電気柵等補助金 3,000千円 (イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザル含む) ④狩猟免許取得補助金 100千円</p>
<p>4 生息地の適正管理 (1) 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。</p>	<p>4 生息地の適正管理 (1) 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。</p>	
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 平成29年より解体処理施設稼働。</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 平成29年より解体処理施設稼働。</p>	
<p>6 その他</p>	<p>6 その他</p>	



令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

丸森町

R4実績	R5計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績) 0.98 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) 1,041 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、豆類、たけのこ、ジャガイモ、たまねぎ、大根、飼料用作物</p> <p>(4) その他 ・家屋周辺の花壇、道路脇の掘り返しなど、農地以外での被害防止。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 0.80 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 0.50 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 900 千円</p> <p>(3) (自動入力)R4被害軽減目標値 521 千円 作物 水稲、豆類、たけのこ、ジャガイモ、たまねぎ、大根、飼料用作物</p> <p>(4) その他 ・家屋周辺の花壇、道路脇の掘り返しなど、農地以外での被害防止。</p>	
<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 175 頭</p> <p>3 被害防止対策</p> <p>(1) 狩猟免許及び銃砲所持許可取得者支援の補助</p> <p>(2) 猟銃購入費補助</p> <p>(3) 電気柵等の防除対策に対する補助</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 1,800 頭</p> <p>3 被害防止対策</p> <p>(1) 狩猟免許及び銃砲所持許可取得者支援の補助</p> <p>(2) 猟銃購入費補助</p> <p>(3) 電気柵等の防除対策に対する補助</p>	<p>年間被害対策費合計 3,952 千円</p> <p>・狩猟免許及び銃砲所持許可取得支援の補助 252千円</p> <p>・猟銃購入費補助 200千円</p> <p>・電気柵等の防除対策に対する補助 3,500 千円</p>
<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 人と野生鳥獣との住み分けのため、雑草、雑木の繁茂する荒地等の解消を呼びかけた。</p>	<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 人と野生鳥獣との住み分けのため、雑草、雑木の繁茂する荒地等の解消を呼びかける。</p>	
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p> <p>(1) 資源活用は放射性物質検査結果と需要に応じて検討。処理は減容化処理を基本とし、状況に応じて、現地埋設。</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p> <p>(1) 資源活用は放射性物質検査結果と需要に応じて検討。処理は減容化処理を基本とし、状況に応じて、現地埋設。</p>	
<p>6 その他</p> <p>(1) ・チラシによる鳥獣被害防止対策の啓発</p>	<p>6 その他</p> <p>(1) ・チラシによる鳥獣被害防止対策の啓発</p>	

令和5年度イノシシ管理事業実施計画(市町村分)

仙台市		R5計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 656a</p> <p>(2) 金額 6,961千円</p> <p>(3) 作物 水稲、ながいも、かぼちゃ、ばれいしよ、落花生、青刈りトウモロコシ</p> <p>(4) その他 県民の森周辺で住宅地への侵入防止柵を設置した。</p>	<p>被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 804.93a</p> <p>(2) 金額 8,406.3千円</p> <p>(3) 作物 水稲、えだまめ、ばれいしよ、ながいも、かんしよ等</p> <p>(4) その他 生活被害の減少や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p>仙台市鳥獣被害防止計画 (令和2年度策定、令和4年度 一部改正)における被害軽減 目標(令和5年度)の達成を 図る。</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 捕獲等に関する取組</p> <p>①捕獲実績605頭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・捕獲頭数はR3年度より193頭減少し、目標の900頭/年を下回った。</li> <li>・令和4年度は箱わな37基を追加配備し、通年で有害捕獲を実施した。くくりわなは30基を仙台鳥獣被害対策実施隊による捕獲活動に導入し、捕獲活動を推進した。</li> </ul> <p>②箱わなの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は令和3年度に引き続き全体で42地区で活動を実施した。地域ぐるみの捕獲対策実施地区へは28基の箱わなを追加整備し、捕獲活動を推進した。</li> <li>・箱わな購入補助について、令和4年度は申請なし。</li> </ul>	<p>被害防除対策</p> <p>(1) 捕獲等に関する取組</p> <p>①仙台市農作物有害鳥獣対策協議会の活動をホームページで市民に情報提供し、活動の理解と協力を得る。</p> <p>②「仙台市農政だより」や仙台市ホームページ等により、鳥獣による農作物被害防止に関する情報提供、啓発を行う。</p> <p>(2) 捕獲等に関する取組</p> <p>①捕獲数及び被害地域が拡大していることを踏まえ、引き続き捕獲を強化していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地及び農地周辺に出没するイノシシを可能な限り捕獲する。 (目標900頭/年)</li> <li>・箱わなを主体に捕獲を通年で実施するとともに、くくりわなの導入を推進する。</li> </ul>	<p>年間被害対策費合計21,757千円</p>	

③イノシシ捕獲報奨金制度

・本制度の活用により、捕獲頭数320頭報奨金2,080,000円を支払い、イノシシの捕獲強化を図った。

④狩猟免許（銃・わな）取得のための補助

・狩猟免許（銃・わな）取得のための講習会及び銃猟免許の取得のための初心者講習会の全額助成を2件、2名に対して行い、狩猟者確保を図った。

⑤地域ぐるみの捕獲対策の推進

・令和3年度に引き続き全体で42地区、568名が捕獲活動に従事した。地域ぐるみの捕獲対策による捕獲対策は288頭であり、令和3年度の403頭からは減少したものの、依然捕獲頭数のおよそ半数を占めるなど高い割合は推移している。

⑥緊急捕獲活動による捕獲経費の補助

・本制度の活用により、捕獲頭数324頭分、報奨金2,298,000円の捕獲経費の補助を行った。（内訳 成獣282頭、幼獣42頭）

⑦作業効率の良い猟具の推進

・仙台市鳥獣被害対策実施部隊による捕獲活動にくくりわな30基を追加導入した。くくりわなによる捕獲は55頭と、令和3年度の97頭に比し低調に推移した。

・平成30年度に導入した囲いわなの遠隔監視・操作システムとわなの作動状況通知システムの運用を行い、効果的な捕獲を実施した。

⑧捕獲個体処理負担軽減に向けた施設設置の検討

②箱わなの整備

地域ぐるみの捕獲対策を活用し、見回りなどの負担を軽減したうえで、箱わなを配備し、捕獲を進める。

・追加整備数 25基（合計554基）

・箱わなを購入する団体に対し補助を行い、集落ぐるみの取り組みを促進する。

③イノシシ捕獲報奨金制度

有害捕獲によるイノシシ捕獲者に対し、報奨金を支払う。（6,500円/頭）

④狩猟免許（銃・わな）取得のための補助

狩猟免許（銃・わな）取得のための講習会及び銃猟免許を取得のための初心者講習会受講者に対し、経費助成を行い、狩猟者の確保に努める。

⑤地域ぐるみの捕獲対策の推進

狩猟免許を有しない地域の農業者等が箱わなの見回り等に従事する地域ぐるみの捕獲対策を推進し、地域の自主防除意識の高揚を図る。また、専門家のフィールドワークを通じた実態調査と課題検証、具体的な改善策提示とその効果検証を行う専門家への委託事業を実施する。

⑥緊急捕獲活動による捕獲経費の補助

捕獲活動に係る経費の負担を軽減するために、国の鳥獣被害防止総合支援事業を活用し、捕獲経費の補助を行う。

（成獣：8,000円/頭、幼獣：1,000円/頭）

⑦作業効率の良い猟具の推進

・設置における作業効率や錯誤捕獲防止に配慮し、くくりわなの使用を促進する。

・ICT等の新捕獲技術の導入を図り、効率的な捕獲を推進する。

⑧捕獲個体処理負担軽減に向けた施設設置の検討

・他の自治体の設置事例より施設の稼働状況や費用等を調査するとともに、仙台市鳥獣被害対策実施部隊や地域ぐるみの捕獲対策従事者の意向を確認しながら、設置に向けた準備を進める。

(3) 防護柵の設置等に関する取組

<p>・他の自治体の施設を視察し、施設概要や稼働状況、事業費等の情報収集を行った。</p> <p>・(2) 防護柵の設置等に関する取組</p> <p>・農作物被害防止施設の設置費用の補助を26団体のべ34件に対して行い、令和4年度の電気柵等被害防止施設の総整備延長は14,587mとなった。</p>	<p>・団体等に対して農作物被害防止施設の設置費用を補助する。</p> <p>防護柵(電気柵等) 設置箇所約70ヶ所</p> <p>・過去に国の補助により大規模防護柵を設置した団体に維持管理用資材を補助する。</p> <p>補助団体数 20団体</p> <p>・県民の森周辺の住宅地における柵の設置を進める。</p> <p>3 指定管理鳥獣捕獲等事業</p> <p>・宮城県の実施する指定管理鳥獣捕獲等事業を活用した捕獲を行う。</p> <p>4 緊急時の対応</p> <p>・市の捕獲許可のもと、箱わなを設置する等、捕獲に向けた迅速な対応を実施する。</p>
<p>3 生息地の適正管理</p> <p>・地域ぐるみでの捕獲対策の講習会において、生息地の適正管理と効果的な捕獲方法等について、地域の従事者へ情報提供し、啓発を行った。また、多面的機能支払交付金及び中山間地域等直接支払制度の活用を通じて、地域の農業者等が行う共同草刈り等の農地保全活動を支援することにより、新たな耕作放棄地の発生抑止を図った。</p>	<p>5 生息地の適正管理</p> <p>・イノシシの生息地となりうる耕作放棄地における草刈りの重要性について講習会等の場を通じて引き続き周知するとともに、多面的機能支払交付金及び中山間地域等直接支払制度の活用を通じて、地域の農業者等が行う共同草刈り等の農地保全活動を支援することにより、新たな耕作放棄地の発生抑止を図っていく。</p>
<p>4 その他</p> <p>(1) 捕獲技術講習会等の実施</p> <p>・地域ぐるみでの捕獲対策の更新及び新規事業開始のための講習会として、当該事業の従事者を対象に計5回開催した。</p> <p>(2) 広報</p> <p>・ホームページ及び農政だよりにより仙台市農作物有害鳥獣対策協議会の活動内容や被害防止対策について情報発信を行い、啓発を行った。</p> <p>(3) 県等が主催する会議に参加し、情報収集に努めた。</p>	<p>6 その他</p> <p>(1) 捕獲技術講習会等の実施</p> <p>・効率的なイノシシ捕獲対策や被害防止に関する講習会等を開催する。</p> <p>(2) 広報</p> <p>・仙台市農作物有害鳥獣対策協議会の活動をホームページで市民に情報提供し、活動の理解と協力を得る。</p> <p>・「仙台市農政だより」や仙台市ホームページ等により、鳥獣による農作物被害防止に関する情報提供、啓発を行う。</p> <p>(3) 県等が主催する会議に参加し、被害状況や被害防止対策等の情報交換、広域連携での対応などにより、被害を防止する。</p>

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

名取市

R4実績		R5計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 3.90 ha (2) 金額(下段前年度実績) 501 千円 (3) 作物 水稲、いも類 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値 (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値 (3) 作物 水稲、いも類 (4) その他	3.17 ha 3.53 ha 2,416 千円 2,685 千円	目標値は前年度実績の90%とする	
2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 44 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	頭 44 頭		
3 被害防除対策 (1) (1)実施隊による捕獲活動の実施 (2)電気柵等の設置支援(補助) (3)食物残渣の適正処理等の指導推進など (4)狩猟免許試験受験者用講習会受講 助成金	3 被害防除対策 (1) (1)実施隊による捕獲活動の実施 (2)電気柵等の設置支援(補助) (3)食物残渣の適正処理等の指導推進など (4)狩猟免許試験受験者用講習会受講 助成金			年間被害対策費合計 (1)県交付金等:3,120,000円 (2)防護柵等購入費補助(市単独):2,000,000円 合計:5,120,000円
4 生息地の適正管理 (1)・農地周辺の除草作業を推進する。	4 生息地の適正管理 (1) 農地周辺の除草作業を推進する			
5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)			
6 その他 (1)	6 その他 (1)			

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

岩沼市

R4実績	R5計画	備考
<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 0.24 ha (2) 金額(下段前年度実績) 440 千円 (3) 作物 野菜、いも類 (4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値 0.36 ha 0.36 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 346 千円 346 千円 (3) 作物 野菜、水稲、果樹、豆類等 (4) その他</p>	
<p>2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 45 頭</p>	<p>2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 150 頭</p>	
<p>3 被害防除対策 (1) (1)侵入防止柵の設置。 (2)狩猟免許取得に対する補助金の支給。 (3)イノシシ捕獲経費の補助。</p>	<p>3 被害防除対策 (1) (1)侵入防止柵の設置。 (2)狩猟免許取得に対する補助金の支給。 (3)イノシシ捕獲経費の補助。</p>	<p>年間被害対策費合計 3960 千円 前年度と同様に侵入防止柵の整備を進め、 農作物の被害量減少に努める。</p>
<p>4 生息地の適正管理 (1) 草刈り、収穫残渣の除去等に関して、啓 発を行う。</p>	<p>4 生息地の適正管理 (1) 草刈り、収穫残渣の除去等に関して、啓 発を行う。</p>	<p>地域ごとに草刈り作業や収穫残渣の除去等 を行い、被害軽減に努める。</p>
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)</p>	
<p>6 その他 (1)</p>	<p>6 その他 (1)</p>	

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

富谷市

R4実績		R5計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 4.11 ha (2) 金額(下段前年度実績) 1,922 千円 (3) 作物 水稲・ナス (4) その他		1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値 (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値 (3) 作物 水稲・ジャガイモ・大豆 (4) その他	0.10 ha 0.15 ha 123 千円 123 千円	
2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	0 頭 58 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	頭 100 頭	
3 被害防除対策 (1) (1)電気柵等設置費用助成 (2)鳥獣侵入防止ネットの設置 (3)わな設置による巡回業務 (4)ワイヤーメッシュの設置 (5)ICTを活用した捕獲効率の向上		3 被害防除対策 (1) (1)電気柵等設置費用助成 (2)鳥獣侵入防止ネットの設置 (3)わな設置による巡回業務 (4)ワイヤーメッシュの設置 (5)ICTを活用した捕獲効率の向上		年間被害対策費合計 22,709 千円 ※宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金交付申請額
4 生息地の適正管理 (1) 特になし		4 生息地の適正管理 (1) 特になし		
5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 特になし		5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 特になし		
6 その他 (1) 未実施		6 その他 (1) 狩猟免許取得勉強会を実施		

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

巨理町

R4実績	R5計画	備考
<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 3.38 ha (2) 金額(下段前年度実績) 4,060 千円 (3) 作物 水稲、果樹(りんご)、豆類、野菜、いも類 (4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 3.04 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 3.04 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 3,654 千円 (自動入力)R4被害軽減目標値 3,654 千円 (3) 作物 水稲、果樹(りんご)、豆類、野菜、いも類 (4) その他</p>	
<p>2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 80 頭</p>	<p>2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 80 頭</p>	
<p>3 被害防除対策 (1) イノシシの生息地の変化に伴い、箱罠設置箇所の見直しを行った。 また、近隣住民への自主防除意識の醸成を図るべく、広報誌を活用して、被害対策事業(電気柵・ワイヤーメッシュ柵設置助成)の周知を図った。</p>	<p>3 被害防除対策 (1) 罠の適正配置や餌の供給を滞りなく行い、捕獲体制の強化に努める。 また、近隣住民への自主防除意識の醸成を図るべく、広報誌を活用して、被害対策事業(電気柵・ワイヤーメッシュ柵設置助成)の周知を図る。</p>	<p>年間被害対策費合計 5032 千円 (実施隊報酬・車両代等2,104千円、補助金1,683千円、巨理町総合農政企画推進協議会鳥獣対策費1,245千円)</p>
<p>4 生息地の適正管理 (1) 住民からの被害連絡をもとに実施隊で被害調査を行い、罠の設置を行った。 また、被害箇所を図面に落とし込み、被害情報のデータ化を行い、生息地の特定に努めた。</p>	<p>4 生息地の適正管理 (1) 住民からの被害連絡をもとに実施隊で被害調査を行い、罠設置の検討を行う。 また、被害箇所を図面に落とし込み、被害情報のデータ化を行い、生息地の特定に努める。</p>	
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 主に米糠を餌として利用した。餌となる米糠については、JAから定期的に提供いただき、供給体制の強化を図った。 近隣農家から規格外の果樹や野菜を頂き、餌として利用した。</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 米糠については、JAから定期的に提供いただく。野菜や果樹については、近隣農家から規格外品をいただき餌として利用予定。 被害を受けている作物が微妙に変化していることから、被害にあった作物を餌として活用できればと考えている。</p>	
<p>6 その他 (1)</p>	<p>6 その他 (1)</p>	



令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

山元町

R4実績	R5計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績) 0.02 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) 78 千円</p> <p>(3) 作物 果樹・野菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 1.95 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 1.95 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 1,955 千円</p> <p>(自動入力)R4被害軽減目標値 1,955 千円</p> <p>(3) 作物 いも類、水稲、豆類、野菜等</p> <p>(4) その他</p>	
<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 7 頭</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による目標捕獲数 180 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数</p>	<p>前年実績から有害鳥獣捕獲数を減額したが、今後もし息範囲の拡大の抑制するよう捕獲範囲を広げなければならない。</p>
<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) (1)山元町鳥獣被害対策実施隊による罠捕獲を実施。</p> <p>(2) 農家個々に電気柵、金網等を設置。</p> <p>(3) 農家自らが設置した電気柵、金網等の被害防止対策に要する費用の1/2を補助。</p> <p>(4) 町防除整備計画を策定し、計画的な防除及びイノシシ捕獲を実施。</p>	<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) (1)山元町鳥獣被害対策実施隊による罠捕獲を実施。</p> <p>(2) 農家個々に電気柵、金網等を設置。</p> <p>(3) 農家自らが設置した電気柵、金網等の被害防止対策に要する費用の1/2を補助。</p> <p>(4) 町防除整備計画を策定し、計画的な防除及びイノシシ捕獲を実施。</p>	<p>年間被害対策費合計 8,293 千円</p> <p>実施隊日当 2,937,150円</p> <p>弾購入旅費 5,000円</p> <p>弾代 60,000円</p> <p>イノシシ対策奨励金 1,800,000円</p> <p>電気柵補助等 1,292,000円</p> <p>危険手当 1,800,000円</p> <p>保険料 71,550円</p> <p>わな整備手当 150,000円</p> <p>発信器購入費 178,200円</p>
<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) (1)イノシシの出没区域が拡大しつつある為、生息域拡大を抑制する。</p>	<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) (1)イノシシの出没区域が拡大しつつある為、生息域拡大を抑制する。</p>	
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p> <p>(1)</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p> <p>(1)</p>	
<p>6 その他</p> <p>(1) (1)町内の狩猟登録者の高齢化に伴い、新規狩猟免許取得者へ対する取得費用の補助を行い、新たな狩猟登録者を発掘する。</p> <p>(2) 電気柵、免許取得補助に関する情報を広報に掲載。</p> <p>(3) 狩猟登録者に研修会、射撃大会等に参加してもらい技術の向上を図る。</p>	<p>6 その他</p> <p>(1) (1)町内の狩猟登録者の高齢化に伴い、新規狩猟免許取得者へ対する取得費用の補助を行い、新たな狩猟登録者を発掘する。</p> <p>(2) 電気柵、免許取得補助に関する情報を広報に掲載。</p> <p>(3) 狩猟登録者に研修会、射撃大会等に参加してもらい技術の向上を図る。</p>	<p>(3)について研修会、射撃訓練の参加費、標的代、弾代の全額補助</p>

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

松島町

R4実績		R5計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 77.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) 898 千円 (3) 作物 水稲・人参・大根・タケノコ・いも類 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 50.00 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 1.00 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 583 千円 (3) 作物 (自動入力)R4被害軽減目標値 100 千円 水稲・人参・大根・タケノコ・いも類 (4) その他			
2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 1 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 10 頭			
3 被害防除対策 (1) わな設置による巡回業務	3 被害防除対策 (1) わな設置による巡回業務			年間被害対策費合計 296 千円 ・見まわり現地調査等 ・止めさし処分 ・わな設置撤去
4 生息地の適正管理 (1) 特になし	4 生息地の適正管理 (1) 特になし			特になし
5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 特になし	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 特になし			特になし
6 その他 (1) 特になし	6 その他 (1) 特になし			特になし

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

利府町

R4実績		R5計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 1.31 ha (2) 金額(下段前年度実績) 2,018 千円 (3) 作物 水稲、ハレイシヨ、カボチャ (4) その他		1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値 (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値 (3) 作物 水稲、ハレイシヨ、カボチャ (4) その他	1.18 ha 0.80 ha 1,816 千円 932 千円	
2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 28 頭		2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	頭 10 頭	
3 被害防除対策 (1) チラシによる広報活動 有害鳥獣駆除 被害防止施設(電気柵等)の設置普及・ 購入補助		3 被害防除対策 (1) チラシによる広報活動 有害鳥獣駆除 被害防止施設(電気柵等)の設置普及・ 購入補助		年間被害対策費合計 2,253 千円 実施隊活動経費(協議会と町予算の合計)
4 生息地の適正管理 (1) 耕作放棄地などにおける草刈りの啓発・ 農作物残渣等の誘引物の適正な処理		4 生息地の適正管理 (1) 耕作放棄地などにおける草刈りの啓発 農作物残渣等の誘引物の適正な処理		
5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)		5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)		
6 その他 (1)		6 その他 (1)		

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

大和町

R4実績		R5計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 13.96 ha (2) 金額(下段前年度実績) 15,995 千円 (3) 作物 水稲、大豆、ばれいしよ、かぼちゃ、ネギ、セリ、栗、大根、ソバ (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 14.98 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 17.50 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 12,760 千円 (自動入力)R4被害軽減目標値 12,122 千円 (3) 作物 水稲、野菜、いも類 (4) その他			
2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 187 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 450 頭			
3 被害防除対策 (1) 未収穫農作物を適正管理するよう農家へ指導。 ・侵入防止対策等の指導。 ・ワイヤーメッシュ柵の購入及び設置。 ・狩猟免許取得に係る補助制度の実施による狩猟者の確保及び捕獲対策の強化 ・被害防止施設購入費の補助 ・ICT導入による捕獲作業の負担軽減	3 被害防除対策 (1) 未収穫農作物を適正管理するよう農家へ指導。 ・侵入防止対策等の指導。 ・ワイヤーメッシュ柵の購入及び設置。 ・狩猟免許取得に係る補助制度の実施による狩猟者の確保及び捕獲対策の強化 ・被害防止施設購入費の補助 ・ICT導入による捕獲作業の負担軽減			年間被害対策費合計 39539 千円 イノシシ捕獲活動費 9,561千円 侵入防止柵整備 22,960千円 ICT機器導入 2,268千円 イノシシ捕獲用くくりわな購入 1,683千円 イノシシ捕獲用箱わな購入 1,210千円 鳥獣被害防止柵設置補助金 1,154千円 鳥獣被害防止施設購入事業補助金 703千円
4 生息地の適正管理 (1) 刈り払い等	4 生息地の適正管理 (1) 刈り払い等			
5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 農作物収穫残渣の除去	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 農作物収穫残渣の除去			
6 その他 (1) 防護柵設置 11,550m	6 その他 (1) 防護柵設置 12,820m			

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

大郷町

R4実績		R5計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 0.28 ha (2) 金額(下段前年度実績) 417 千円 (3) 作物 水稲、ばれいしよ (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値 0.40 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 400 千円 (3) 作物 (自動入力)R4被害軽減目標値 400 千円 水稲、ばれいしよ (4) その他			
2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 43 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 120 頭			
3 被害防除対策 (1) 捕獲隊による捕獲活動の実施 ・狩猟免許取得に係る補助制度の実施 ・被害防止施設購入費の補助	3 被害防除対策 (1) 捕獲隊による捕獲活動の実施 ・狩猟免許取得に係る補助制度の実施 ・被害防止施設購入費の補助			年間被害対策費合計 1816 千円 大郷町農作物有害鳥獣対策協議会令和5年度 緊急対策費(イノシシ・熊対策費)として550千円 (協議会会計) 狩猟免許取得助成として266千円(町補助事業) 被害防止施設購入助成として1,000千円(町補助 事業)
4 生息地の適正管理 (1)	4 生息地の適正管理 (1)			
5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)			
6 その他 (1)	6 その他 (1)			

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

大衡村

R4実績		R5計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 0.57 ha (2) 金額(下段前年度実績) 580 千円 (3) 作物 水稲、野菜 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値 → (自動入力)R4被害軽減目標値 (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値 → 579 千円 (3) 作物 (自動入力)R4被害軽減目標値 水稲、野菜類 1,400 千円 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 0.56 ha 1.40 ha (2) 金額(下段前年度実績) 579 千円 (3) 作物 (自動入力)R4被害軽減目標値 水稲、野菜類 1,400 千円 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値 → (自動入力)R4被害軽減目標値 (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値 → 579 千円 (3) 作物 (自動入力)R4被害軽減目標値 水稲、野菜類 1,400 千円 (4) その他	昨年度に更新した鳥獣被害防止計画をの 目標値より令和4年度実績の被害面積及び 被害金額が下回っているため、電気柵設置 補助等により被害面積等の減少に努める。
2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 73 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 100 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 100 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 100 頭	
3 被害防除対策 (1) 未収穫農作物を適正処理するよう農家 へ指導した。 ・電気柵及び防護柵設置の補助を行っ た。 ・免許取得者に対する助成を行った。	3 被害防除対策 (1) 未収穫農作物を適正処理するよう農家 へ指導する。 ・電気柵及び防護柵設置の補助を行う。 ・免許取得者に対する助成を行う。	3 被害防除対策 (1) 未収穫農作物を適正処理するよう農家 へ指導する。 ・電気柵及び防護柵設置の補助を行う。 ・免許取得者に対する助成を行う。	3 被害防除対策 (1) 未収穫農作物を適正処理するよう農家 へ指導する。 ・電気柵及び防護柵設置の補助を行う。 ・免許取得者に対する助成を行う。	年間被害対策費合計 3,455 千円 ・有害鳥獣防止施設購入事業補助金 ・狩猟免許等取得・更新費補助金
4 生息地の適正管理 (1) 草刈り、収穫残渣の除去等に関して、啓 発を行った。	4 生息地の適正管理 (1) 草刈り、収穫残渣の除去等に関して、啓 発を行った。	4 生息地の適正管理 (1) 草刈り、収穫残渣の除去等に関して、啓 発を行った。	4 生息地の適正管理 (1) 草刈り、収穫残渣の除去等に関して、啓 発を行った。	
5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) イノシシの食糧になるような残渣を残さな いようにした。	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) イノシシの食糧になるような残渣を残さな いようにした。	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) イノシシの食糧になるような残渣を残さな いようにした。	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) イノシシの食糧になるような残渣を残さな いようにした。	
6 その他 (1) 新型コロナウイルス感染症の影響で研修 会の開催はできなかつたため、イノシシの 生態等について広報で周知した。	6 その他 (1) イノシシの生態等の周知及び被害防除対 策に係る補助制度の周知を行う。	6 その他 (1) イノシシの生態等の周知及び被害防除対 策に係る補助制度の周知を行う。	6 その他 (1) イノシシの生態等の周知及び被害防除対 策に係る補助制度の周知を行う。	

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

大崎市

R4実績	R5計画	備考
<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 5.94 ha (2) 金額(下段前年度実績) 3,964 千円 (3) 作物 水稲, 野菜, イモ類 (4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 3.84 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 5.00 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 4,660 千円 (3) 作物 (自動入力)R4被害軽減目標値 4,500 千円 水稲, 飼料作物, 野菜, いも類 (4) その他</p>	
<p>2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 373 頭</p>	<p>2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 2,000 頭</p>	
<p>3 被害防除対策 (1) 補助金を活用した電気柵の設置件数 121 件 物理柵設置8,500m</p>	<p>3 被害防除対策 (1) 電気柵の設置を行う。 物理柵の設置を行う。</p>	年間被害対策費合計 57,223 千円
<p>4 生息地の適正管理 (1)</p>	<p>4 生息地の適正管理 (1)</p>	
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)</p>	
<p>6 その他 (1) Webサイトに電気柵設置補助金について掲載。</p>	<p>6 その他 (1) 広報等により鳥獣被害防止に関する啓発等を行う。</p>	

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

色麻町

R4実績		R5計画		備考
1 被害軽減目標		1 被害軽減目標		
(1) 面積(下段前年度実績)	0.67 ha	(1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値	16.92 ha 16.92 ha	
(2) 金額(下段前年度実績)	147 千円	(2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→	2,666 千円	
(3) 作物 水稲		(3) 作物 水稲、野菜等	2,666 千円	
(4) その他		(4) その他 R4年度は豚熱により被害が減っていたが 回復傾向にあるので、被害軽減目標値は R4年度と同じとしている		
2 個体数管理		2 個体数管理		
(1) 個体数調整による目標捕獲数	0 頭	(1) 個体数調整による目標捕獲数	頭	
(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	46 頭	(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	50 頭	
3 被害防除対策		3 被害防除対策		
(1) ・チラシ配布による広報活動 ・有線放送による注意喚起 ・狩猟免許等を取得した者及び更新した者 者に対し、助成金を交付する。(色麻町狩 猟免許取得等助成金)。 ・鳥獣被害対策アドバイザーによる現地		(1) ・チラシ配布による広報活動 ・有線放送による注意喚起 ・狩猟免許等を取得した者及び更新した者 者に対し、助成金を交付する。(色麻町狩 猟免許取得等助成金)。 ・鳥獣被害対策アドバイザーによる現地 の設置や被害防除研修会等を開催する。(主 体は色麻町有害鳥獣対策協議会)。		年間被害対策費合計 14,389 千円 ・色麻町狩猟免許取得等助成金 758 千円 ・色麻町鳥獣被害対策実施隊員報酬 289 千円 ・色麻町鳥獣被害対策実施隊員費用弁償 39 千円 ・鳥獣被害対策アドバイザー 3,912 千円 ・宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金 9,391 千円
4 生息地の適正管理		4 生息地の適正管理		
(1) 地域が主体となり、生息地の適正管理 (定期的な草刈り等)を行った。		(1) 地域が主体となり、生息地の適正管理 (定期的な草刈り等)を行った。		
5 資源活用及び残渣の適正処理		5 資源活用及び残渣の適正処理		
(1) 地域が主体となり、適正に処理した。		(1) 地域が主体となり、適正に処理した。		
6 その他		6 その他		
(1)		(1)		



令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

加美町

R4実績	R5計画	備考
<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 9.83 ha (2) 金額(下段前年度実績) 10,702 千円 (3) 作物 水稻、野菜、飼料作物 (4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 147.81 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 124.40 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 11,959 千円 (自動入力)R4被害軽減目標値 10,070 千円 (3) 作物 水稻、野菜、飼料作物 (4) その他</p>	
<p>2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 163 頭</p>	<p>2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 250 頭</p>	
<p>3 被害防除対策 (1) 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用し、侵入防止策の設置や被害防除研修会等を開催する。</p>	<p>3 被害防除対策 (1) 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用し、侵入防止策の設置や被害防除研修会等を開催する。</p>	<p>年間被害対策費合計 29,130 千円 町鳥獣被害防止対策協議会助成事業を活用していく</p>
<p>4 生息地の適正管理 (1) 地域が主体となり、生息地の適正管理(定期的な草刈り等)に努める。</p>	<p>4 生息地の適正管理 (1) 地域が主体となり、生息地の適正管理(定期的な草刈り等)に努める。</p>	
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 現在、捕獲したものを解体し残渣については、焼却処分を行っている。捕獲頭数を減少傾向だが実施隊の負担軽減のため、R6に解体処理施設を建設予定</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 現在、捕獲したものを解体し残渣については、焼却処分を行っている。捕獲頭数を減少傾向だが実施隊の負担軽減のため、R6に解体処理施設を建設予定</p>	
<p>6 その他 (1) 実施隊によるパトロールを実施する。</p>	<p>6 その他 (1) 実施隊によるパトロールを実施</p>	

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

栗原市

R4実績		R5計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績)</p> <p>5.28 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績)</p> <p>5,315 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、飼料作物(牧草)、野菜(ばれいしよ、ほか)</p> <p>(4) その他 田畑(畦畔・休耕田)、道路(のり面)、ホー ルクroppサイレージ</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度計画)</p> <p>R5被害軽減目標値→ 4.49 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 4.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度計画)</p> <p>R5被害軽減目標値→ 4,518 千円</p> <p>(3) 作物 (自動入力)R4被害軽減目標値 4,900 千円 水稲、飼料作物(牧草)、野菜(ばれいしよ、かんしよ、ねぎ、はくさい、ほか)</p> <p>(4) その他 田畑(畦畔・休耕田)、道路(のり面)、ホー ルクroppサイレージ</p>		
<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 267 頭</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 300 頭</p>		
<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 個人に対し防護柵(電気柵等)設置補助(216件)</p> <p>・狩猟免許・猟銃所持許可取得の補助(13件)</p> <p>・交付金によるワイヤーメッシュ柵設置(3地区計5,372m)</p> <p>・目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図る。</p>	<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 防護柵(電気柵等)設置の補助を行う。 ・目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図る。 ・狩猟免許等取得支援のための補助を行い、実施隊員の増加を図る。 ・ワイヤーメッシュ柵設置による広域的な被害防止対策の実施。</p>	<p>年間被害対策費合計 50,530 千円</p> <p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防護柵(電気柵等)設置補助事業 8,000千円</li> <li>・鳥獣被害防止総合支援事業交付金 41,930千円</li> <li>・狩猟免許取得及鉄砲所持許可取得事業 600千円</li> </ul>	
<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 被害現場確認の際、周囲の状況に応じて被害者に自主防除策として除草を適宜指示した。</p>	<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 耕作地に接する山林側の除草を実施し、生息地の適正管理に努める。</p>		
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p> <p>(1) 被害現場確認の際、被害力所に放置されている農作物等の残渣の処理を指示した。</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p> <p>(1)</p>		
<p>6 その他</p> <p>(1) 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図り、目撃並びに被害箇所の現地確認等を実施した。</p>	<p>6 その他</p> <p>(1) 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図り、目撃並びに被害箇所の現地確認等を実施する。</p>		

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

石巻市

R4実績		R5計画		備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績) 0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) 0 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 0.00 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 0.13 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 0 千円 (自動入力)R4被害軽減目標値 137 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>(4) その他</p>	<p>令和4年度の被害は報告されなかつたが、市内での捕獲数が増加傾向にあり、生息数が増加していると考えられるため、引き続き有害捕獲を中心に二ホンジカ対策と並行して被害防除対策等を実施する。</p>		
<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 15 頭</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 20 頭</p>			
<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 目撃情報等を積極的に収集し、猟友会へ情報提供することで、捕獲を推進した。</p>	<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 積極的に目撃情報等を収集し、猟友会へ情報提供することで、捕獲を推進する。</p>			年間被害対策費合計 - 千円 イノシシに関する被害対策については、二ホンジカ対策と並行して実施することとする。
<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 二ホンジカ被害対策と並行して緩衝帯整備を実施した。</p>	<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 二ホンジカ対策と並行して、地域への情報提供を行うことで緩衝帯の整備や放任果樹の除去などを推進し、人と鳥獣のすみ分けを図る。</p>			
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p> <p>(1) 埋設などにより適切に処理を行った。</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理</p> <p>(1) 埋設などにより適切に処理を行う。</p>			
<p>6 その他</p> <p>(1)</p>	<p>6 その他</p> <p>(1) 県内自治体や関係機関と打ち合わせを行い、情報共有を図る。</p>			

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

登米市

R4実績		R5計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 0.01 ha (2) 金額(下段前年度実績) 21 千円 (3) 作物 いも類 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 0.01 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 0.02 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 3 千円 (自動入力)R4被害軽減目標値 68 千円 (3) 作物 いも類 (4) その他			
2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 3 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 20 頭			
3 被害防除対策 (1) 被害農家に対し、圃場への侵入防止対策を講じるように指導 防護柵等設置に対する補助金制度の周知	3 被害防除対策 (1) 被害農家に対し、圃場への侵入防止対策を講じるように指導 防護柵等設置に対する補助金制度の周知			年間被害対策費合計 1000 千円
4 生息地の適正管理 (1) 生息区域の把握	4 生息地の適正管理 (1) 生息区域の把握			
5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 資源活用を行う際は、食品衛生法等の關係法令等に基づいた適切な処理を行った。残渣が発生した場合は、本市クリーンセンターにて焼却処理を行った。	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 資源活用を行う際は、食品衛生法等の關係法令等に基づいた適切な処理を行った。残渣が発生した場合は、本市クリーンセンターにて焼却処理を行う。			
6 その他 (1)	6 その他 (1)			

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

気仙沼市

R4実績	R5計画	備考
<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 0.16 ha (2) 金額(下段前年度実績) 174 千円 (3) 作物 水稲・野菜等 (4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 0.10 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 0.08 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 116 千円 (自動入力)R4被害軽減目標値 39 千円 (3) 作物 水稲・野菜等 (4) その他</p>	
<p>2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 34 頭</p>	<p>2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 60 頭</p>	
<p>3 被害防除対策 (1) 農地周辺に防護ネットや電気柵を設置した際に、みやぎ環境税を活用し補助金を交付する。</p>	<p>3 被害防除対策 (1) 農地周辺に防護ネットや電気柵を設置した際に、みやぎ環境税を活用し補助金を交付する。</p>	<p>年間被害対策費合計 1,727 千円 42,026千円(市予算20,832千円+協議会予算21,194千円)×60頭/1,460頭=1,727千円</p>
<p>4 生息地の適正管理 (1)</p>	<p>4 生息地の適正管理 (1)</p>	
<p>5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)</p>	<p>5 資源活用及び残渣の適正処理 (1)</p>	
<p>6 その他 (1)</p>	<p>6 その他 (1)</p>	

令和5年度イノシシ管理事業実施計画（市町村分）

南三陸町

R4実績		R5計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 0.99 ha (2) 金額(下段前年度実績) 1,101 千円 (3) 作物 水稲、野菜 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 0.72 ha (自動入力)R4被害軽減目標値 0.50 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 2,130 千円 (自動入力)R4被害軽減目標値 2,000 千円 (3) 作物 水稲、野菜 (4) その他	鳥獣被害防止計画に定めた被害の軽減目標値	鳥獣被害防止計画に定めた被害の軽減目標値	
2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 14 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 40 頭	鳥獣被害防止計画に定めた被害の軽減目標値	鳥獣被害防止計画に定めた被害の軽減目標値	
3 被害防除対策 (1) 関係機関との情報共有 (2) 電気柵の設置に対する補助(継続)	3 被害防除対策 (1) 関係機関との情報共有 (2) 電気柵の設置に対する補助(継続)	年間被害対策費合計	千円	
4 生息地の適正管理 (1) 適切に除草を行うなど、適正管理の周知に努める。	4 生息地の適正管理 (1) 適切に除草を行うなど、適正管理の周知に努める。			
5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 町有地内の埋却場に埋却	5 資源活用及び残渣の適正処理 (1) 町有地内の埋却場に埋却			
6 その他 (1)	6 その他 (1)			